

2025年10月8日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

20代の意識・実態調査 2025

～ 年上の世代に言われてなんのことだかわからなかった言葉 1位「アベック」、2位「チョベリグ/チョベリバ」、3位「ナウい」
年上の世代に言って伝わらなかった言葉は？ ～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：蕪木 広義）は、全国の20歳～29歳の男女4,700名（男性2,350名 女性2,350名）を対象に、「20代の意識・実態調査2025」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆年上の世代に言われてなんのことだかわからなかった言葉 1位「アベック」、2位「チョベリグ/チョベリバ」、3位「ナウい」

年上の世代に言われてなんのことだかわからなかった言葉を聞くと、1位「アベック」、2位「チョベリグ/チョベリバ」、3位「ナウい」、4位「半ドン」、5位「テレコ」となりました。1960年代から1980年代頃に使用されていた、男女の二人連れを意味する「アベック」や、1996年に新語・流行語大賞のトップテンに選ばれた「チョベリグ/チョベリバ」といった言葉は、現代の20代にはピンと来ないようです。また、完全週休二日制の普及により制度自体が過去のものとなった「半ドン」や、バブル時代を象徴する「アッシー」、昭和のビジネス用語「鉛筆なめなめ」「一丁目一番地」も10位以内にランクインしました。

Q. 年上の世代に言われてなんのことだかわからなかった言葉は？

1位	アベック	34名	6位	アッシー	7名
2位	チョベリグ/チョベリバ	23名	6位	えもんかけ	7名
3位	ナウい	17名	6位	鉛筆なめなめ	7名
4位	半ドン	12名	6位	ズック	7名
5位	テレコ	11名	10位	とりま	6名
			10位	チョンボ	6名
			10位	一丁目一番地	6名
			10位	卍・マジ卍	6名

◆20代にとって対話型AIとは？ 1位「便利」、2位「質問・相談相手」、3位「暇つぶし相手」

自身にとって“対話型AI”とはどのような存在か聞くと、1位「便利」、2位「質問・相談相手」、3位「暇つぶし相手」、4位「役に立つ、有能」、5位「話し相手」となりました。情報を得るといった有用な存在だけでなく、「暇つぶし相手」や「話し相手」といった気晴らしができるような存在ととらえている人も多いのではないのでしょうか。

Q. 自分にとって対話型AIとは？

1位	便利	259名	3位	暇つぶし相手	93名
2位	質問・相談相手	142名	4位	役に立つ、有能	84名
			5位	話し相手	70名

◆自身のマネーリテラシーに対する自信度

自信がある人の割合は？「家計管理に関するリテラシー」34%、「資産運用に関するリテラシー」25%、「ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー」33%、「お金のトラブルに関するリテラシー」38%

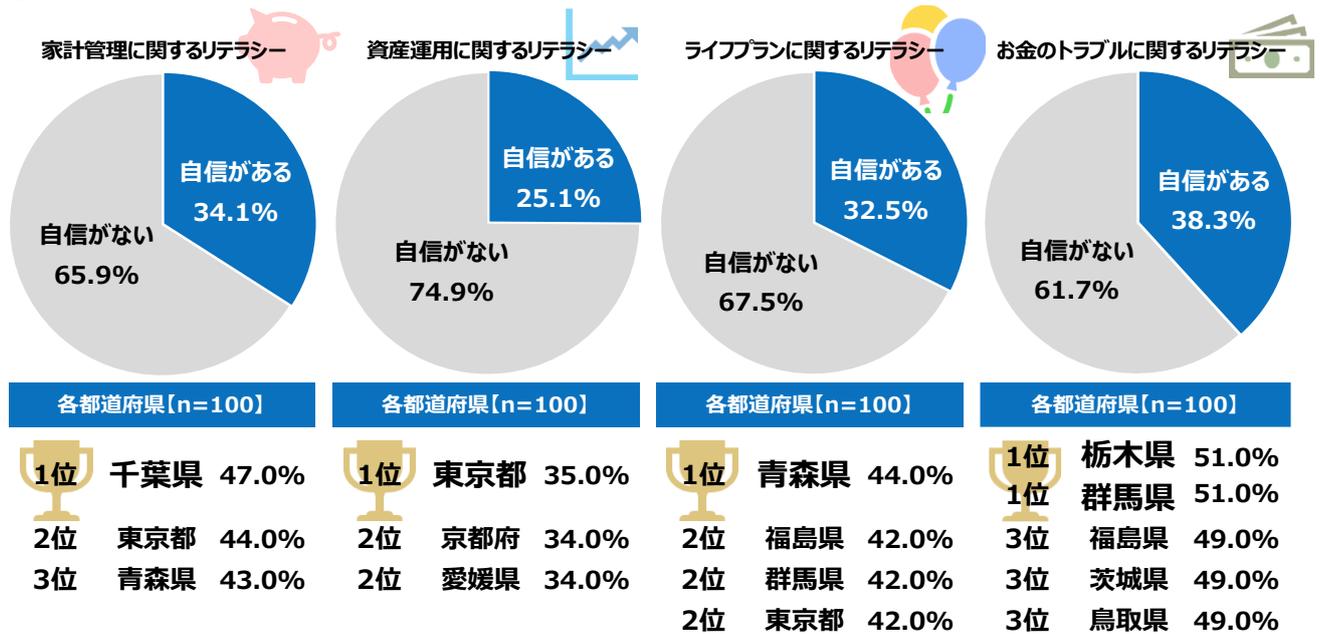
自身のマネーリテラシーに対して自信があるかを聞くと、【家計管理に関するリテラシー】では『自信がある』は 34.1%、【資産運用に関するリテラシー】では『自信がある』が 25.1%となりました。【ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー】では、『自信がある』が 32.5%でした。

【お金のトラブルに関するリテラシー】では『自信がある』が 38.3%と、どの項目においても自信がない人が多数派となり、特に【資産運用に関するリテラシー】では自信がない人が 4 人に 3 人でした。資産運用については知識や判断力が足りないと感じている 20 代が多いのではないのでしょうか。

都道府県別にみると、【家計管理に関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高かったのは千葉県で、東京都、青森県が続きました。【資産運用に関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高かったのは東京都、京都府と愛媛県の順となりました。【ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高かったのは青森県となり、福島県、群馬県、東京都が続きました。

【お金のトラブルに関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高かったのは栃木県と群馬県で、自信がある人が半数以上いるという結果になりました。以降、福島県、茨城県、鳥取県が続きました。

Q. マネーリテラシーについて自信があるか？



◆20代が影響を受けている（受けた）20代の有名人

1位「芦田愛菜さん」、2位「橋本環奈さん」、3位「目黒蓮さん」、4位「大森元貴さん」「ちゃんみなさん」

影響を受けている（受けた）20代の有名人を聞くと、1位は「芦田愛菜さん」となりました。回答した理由については、「自分よりも年下だが、教養があり、とても礼儀正しいところが素敵で見習いたいと思った」などが挙げられました。勉強熱心な姿勢に影響を受けた人が多いようです。次いで、2位「橋本環奈さん」、3位「目黒蓮さん」、4位「大森元貴さん」「ちゃんみなさん」となりました。

Q. 影響を受けている（受けた）20代の有名人は？

1位 ★ 芦田愛菜 48名	3位 目黒蓮 20名
2位 橋本環奈 22名	4位 大森元貴 18名
	4位 ちゃんみな 18名

調査結果 index

◆20代を感じる世代間ギャップについて

……p.5~8

- ・年上の年代に感じる世代間ギャップ 1位「SNSの使い方」
北海道、静岡県、福岡県、佐賀県、宮崎県では「ハラスメントに対する考え」が1位に
- ・20代が年上の世代から学びたいこと 1位「礼儀・マナー」、女性では5人に1人
- ・年上の世代に言われてなんのことかわからなかった言葉 1位「アベック」、2位「チョコベリグ/チョコベリバ」、3位「ナウい」
- ・年上の世代に言って伝わらなかった言葉 1位「エモい」、2位「ワンチャン」、3位「りりよ」「草」

◆20代のお金に関する意識・実態について

……p.9~16

- ・生活費に対する不安は？ 「現在の生活費が不安」61%、不安度が最も高くなったのは長野県と和歌山県
「老後の生活費が不安」65%、宮崎県では79%に
- ・20代の現在の貯蓄額 平均は149万円、一方で4人に1人が「0円」に
- ・60歳までに貯めたいと思う目標の貯蓄額 平均は3,049万円
- ・自身のマネーリテラシーに対する自信度
自信がある人の割合は？ 「家計管理に関するリテラシー」34%、「資産運用に関するリテラシー」25%、
「ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー」33%、「お金のトラブルに関するリテラシー」38%
栃木県と群馬県では「お金のトラブルに関するリテラシー」への自信がある人が半数以上
- ・お金に関するトラブルを経験したことがある20代は42%
経験したことがある消費・お金に関するトラブル 「クレジットカードの不正利用」「ワンクリック詐欺」も上位に

◆20代の仕事に関する意識・実態について

……p.17~25

- ・現在の仕事に対する満足度
「仕事内容」55%、「職場環境」53%、「職場の人間関係」58%、「自己成長の機会」56%、「給与・待遇」44%
- ・「仕事内容」の満足度1位は青森県、「職場環境」と「職場の人間関係」の満足度1位は東京都、
「自己成長の機会」の満足度1位は岐阜県、「給与・待遇」の満足度1位は秋田県
- ・仕事のモチベーションがアップするのはどっち？
「高い目標を設定される」より「簡単な目標を設定される」57%、
「みんなの前で褒められる」より「誰もいないところで褒められる」58%、
「みんなの前で叱られる」より「誰もいないところで叱られる」65%、
「自分のミスは、“メールで指摘される”より“対面で指摘される”60%、
「自分だけ特別扱いされる」より「みんな公平に扱われる」69%、
「細かく指導される」より「自分の好きなようにやらせてくれる」59%、
「調子が上がらないときは、“頑張れと言われる”より“無理しないでと言われる”62%、
「頑張ったご褒美は、“飲み連れて行ってくれる”より“早くあがらせてくれる”59%
- ・勤務スタイルの理想と現実 理想の“出社とテレワークのバランス”は「出社 週5日：テレワーク 週0日」が最多、
実際の“出社とテレワークのバランス”も「出社 週5日：テレワーク 週0日」が最多
- ・仕事に関する“どっち”
「働きたいのは、“ドライな職場”より“アットホームな職場”63%、
「希望する仕事の進め方は、“個人プレー”より“チームプレー”53%、
「希望する人事評価は、“年功序列型”より“成果主義型”52%、
「将来目指したいのは、“スペシャリスト”より“ゼネラリスト”52%、
「優先させたいのは、“仕事”より“プライベート”68%
- ・「残業をしている」有職者の64%
残業をしている理由 1位「業務が終わらない」、2位「残業代がほしい」、3位「少しでも進めておきたい業務がある」

◆20代のライフスタイル実態について

……p.26～28

- ・友だちとの連絡で最も使っている手段 「LINE」が70%でダントツ、「SNSのDM」は6%、「直接会って話す」は4%
- ・メディアに対する20代の信頼度 100点満点で評価すると？
平均は「テレビの情報」50点、「ラジオの情報」46点、「新聞の情報」49点、「雑誌の情報」44点、
「ネットニュースの情報」46点、「動画サイトの情報（YouTubeなど）」46点、「SNSの情報」43点
- ・20代にとって友だちとは？ 男女とも1位「大切」、2位「話せる・話し合える」、
男性3位は「信頼できる」、女性3位は「楽しい、面白い」

◆20代の対話型AIへの意識について

……p.29～30

- ・20代にとって対話型AIとは？ 1位「便利」、2位「質問・相談相手」、3位「暇つぶし相手」
- ・対話型AIを“心の拠り所”と感じたエピソード 「心が折れたときの対処法を聞いている」
「人には相談するのが恥ずかしいことを相談できた」「仕事で悩んでいるときに誰よりも親身になってくれる」など

◆20代の悩み・ストレスについて

……p.31

- ・20代が最近、悩み・ストレスを感じたこと
「成長につながる仕事を任せてもらえない」「物価高で欲しい物が買えない」「上司に理不尽なことで怒られた」
「就活で入りたい企業に入れなかった」「初めての育児が難しいときがある」「LINEの返信が返ってこない」など

◆20代のオススメについて

……p.32～33

- ・20代が年上世代にオススメしたいエンタメ
オススメのアーティスト 「Mrs. GREEN APPLE」がダントツ、2位「Snow Man」、3位「米津玄師さん」
オススメの映画TOP3 「鬼滅の刃」「名探偵コナン」「国宝」

◆20代の理想のオトナについて

……p.34～37

- ・20代が影響を受けている（受けた）20代の有名人
1位「芦田愛菜さん」、2位「橋本環奈さん」、3位「目黒蓮さん」、4位「大森元貴さん」「ちゃんみなさん」
- ・20代が“理想のオトナ”だと思う年上の有名人
男性回答 1位「大谷翔平さん」、2位「木村拓哉さん」、3位「イチローさん」
女性回答 1位「北川景子さん」、2位「天海祐希さん」、3位「石原さとみさん」
- ・20代が自分の人生を映画化するとき主演してほしい有名人
男性回答 1位「菅田将暉さん」、2位「阿部寛さん」、3位「山崎賢人さん」「佐藤健さん」
女性回答 1位「有村架純さん」、2位「広瀬すずさん」、3位「今田美桜さん」
- ・20代が現在の社会情勢を解説してほしい有名人TOP2 「池上彰さん」「カズレーザーさん」
理由は「池上彰さん」では「ニュースの解説番組でわかりやすく説明している」、
「カズレーザーさん」では「面白く、説得力のある解説をしてくれそう」など



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆20代が感じる世代間ギャップについて

・年上の年代に感じる世代間ギャップ 1位「SNSの使い方」

北海道、静岡県、福岡県、佐賀県、宮崎県では「ハラスメントに対する考え」が1位に

全国の20歳～29歳の男女4,700名（全回答者）に対し、自身のライフスタイルや仕事観・世代間ギャップについて質問しました。

はじめに、全回答者（4,700名）に、年上の世代とのギャップについて質問しました。

自分より年上（10歳以上年上）の世代とギャップを感じることを聞いたところ、「SNSの使い方」（20.3%）が最も高くなりました。次いで、「仕事に対する考え」（19.6%）、「恋愛・結婚に対する考え」（17.4%）、「礼儀・マナーに対する意識」（16.9%）、「飲み会に対する考え」（15.8%）となりました。

◆自分より年上（10歳以上年上）の世代とギャップを感じること（複数回答形式）※上位10位までを表示
全体[n=4700]

		%			%
1位	SNSの使い方	20.3	6位	エンタメ作品（映画や歌など）の好み	15.5
2位	仕事に対する考え	19.6	7位	ハラスメントに対する考え	15.3
3位	恋愛・結婚に対する考え	17.4	8位	コミュニケーション方法	15.2
4位	礼儀・マナーに対する意識	16.9	9位	雑談の内容	13.9
5位	飲み会に対する考え	15.8	10位	休日の過ごし方	13.8

男女別にみると、男性では1位「仕事に対する考え」（17.5%）、2位「SNSの使い方」（15.6%）、3位「礼儀・マナーに対する意識」「飲み会に対する考え」（いずれも15.0%）でした。一方、女性では1位「SNSの使い方」（24.9%）、2位「恋愛・結婚に対する考え」（21.9%）、3位「仕事に対する考え」（21.7%）となりました。また、女性では「ハラスメントに対する考え」（16.7%）もTOP5にランクインしました。

◆自分より年上（10歳以上年上）の世代とギャップを感じること（複数回答形式）※上位5位までを表示

	男性[n=2350]	%		女性[n=2350]	%
1位	仕事に対する考え	17.5	1位	SNSの使い方	24.9
2位	SNSの使い方	15.6	2位	恋愛・結婚に対する考え	21.9
3位	礼儀・マナーに対する意識	15.0	3位	仕事に対する考え	21.7
	飲み会に対する考え	15.0	4位	礼儀・マナーに対する意識	18.7
5位	エンタメ作品（映画や歌など）の好み	14.4	5位	エンタメ作品（映画や歌など）の好み	16.7
				ハラスメントに対する考え	16.7

都道府県別にみると、栃木県、埼玉県、東京都、京都府では「エンタメ作品（映画や歌など）の好み」、北海道、静岡県、福岡県、佐賀県、宮崎県では「ハラスメントに対する考え」が1位に挙げられました。また、大阪府、熊本県、沖縄県では「コミュニケーション方法」、奈良県では「雑談の内容」、愛媛県では「休日の過ごし方」が1位に挙げられる結果となりました。

◆自分より年上（10歳以上年上）の世代とギャップを感じること（複数回答形式） ※都道府県別の1位を表示
各都道府県【n=100】

北海道	SNSの使い方/礼儀・マナーに対する意識 /ハラスメントに対する考え	新潟県	SNSの使い方	鳥取県	SNSの使い方/恋愛・結婚に対する考え
青森県	SNSの使い方	富山県	SNSの使い方	島根県	仕事に対する考え
岩手県	SNSの使い方	石川県	恋愛・結婚に対する考え	岡山県	礼儀・マナーに対する意識
宮城県	仕事に対する考え	福井県	仕事に対する考え	広島県	礼儀・マナーに対する意識
秋田県	SNSの使い方	山梨県	SNSの使い方	山口県	仕事に対する考え
山形県	仕事に対する考え	長野県	礼儀・マナーに対する意識	徳島県	仕事に対する考え
福島県	SNSの使い方	岐阜県	仕事に対する考え	香川県	SNSの使い方
茨城県	仕事に対する考え	静岡県	礼儀・マナーに対する意識 /ハラスメントに対する考え	愛媛県	休日の過ごし方
栃木県	エンタメ作品（映画や歌など）の好み	愛知県	SNSの使い方	高知県	SNSの使い方
群馬県	SNSの使い方	三重県	仕事に対する考え	福岡県	ハラスメントに対する考え
埼玉県	エンタメ作品（映画や歌など）の好み	滋賀県	飲み会に対する考え	佐賀県	仕事に対する考え/飲み会に対する考え /ハラスメントに対する考え
千葉県	礼儀・マナーに対する意識	京都府	仕事に対する考え /エンタメ作品（映画や歌など）の好み	長崎県	仕事に対する考え
東京都	エンタメ作品（映画や歌など）の好み	大阪府	コミュニケーション方法	熊本県	コミュニケーション方法
神奈川県	恋愛・結婚に対する考え	兵庫県	SNSの使い方	大分県	恋愛・結婚に対する考え
		奈良県	恋愛・結婚に対する考え/雑談の内容	宮崎県	ハラスメントに対する考え
		和歌山県	SNSの使い方	鹿児島県	仕事に対する考え/飲み会に対する考え
				沖縄県	コミュニケーション方法

・20代が年上の世代から学びたいこと 1位「礼儀・マナー」、女性では5人に1人

全回答者（4,700名）に、自分より年上（10歳以上年上）の世代から学びたいと思うことを聞いたところ、1位は「礼儀・マナー」（18.6%）、2位は「職場での立ち居振る舞い」（16.3%）となりました。次いで、3位「お金の使い方」（15.5%）、4位「仕事を楽しむコツ」（15.1%）、5位「コミュニケーションスキル」（14.3%）となりました。“自分より年上（10歳以上年上）の世代とギャップを感じる”では、2位に「仕事に対する考え」（19.6%）、4位に「礼儀・マナーに対する意識」（16.9%）が挙げられており、20代では年上の世代の仕事への向き合い方や礼儀を重んじる姿勢を見て、学びたいと思う人が多いのではないのでしょうか。

◆自分より年上（10歳以上年上）の世代から学びたいと思うこと（複数回答形式）※上位10位までを表示
全体[n=4700]

		%			%
1位	礼儀・マナー	18.6	6位	効率的な働き方	13.7
2位	職場での立ち居振る舞い	16.3	7位	ストレス対策	13.3
3位	お金の使い方	15.5	8位	いい会社の見分け方 (収益性や福利厚生など)	12.5
4位	仕事を楽しむコツ	15.1	9位	困難・逆境の乗り越え方	12.3
5位	コミュニケーションスキル	14.3	10位	プライベートを充実させる方法	9.7

男女別にみると、1位は男性・女性ともに「礼儀・マナー」（男性15.7%、女性21.5%）となり、以降、男性では2位「仕事を楽しむコツ」（15.0%）、3位「職場での立ち居振る舞い」（14.4%）、女性では2位「職場での立ち居振る舞い」（18.3%）、3位「お金の使い方」（17.6%）が続きました。

◆自分より年上（10歳以上年上）の世代から学びたいと思うこと（複数回答形式）※上位5位までを表示

	男性[n=2350]	%		女性[n=2350]	%
1位	礼儀・マナー	15.7	1位	礼儀・マナー	21.5
2位	仕事を楽しむコツ	15.0	2位	職場での立ち居振る舞い	18.3
3位	職場での立ち居振る舞い	14.4	3位	お金の使い方	17.6
4位	コミュニケーションスキル	13.9	4位	仕事を楽しむコツ	15.3
5位	お金の使い方	13.4	5位	コミュニケーションスキル	14.6
	効率的な働き方	13.4			

・年上の世代に言われてなんのことだかわからなかった言葉 1位「アベック」、2位「チョベリグ/チョベリバ」、3位「ナウい」
・年上の世代に言って伝わらなかった言葉 1位「エモい」、2位「ワンチャン」、3位「り・りよ」「草」

全回答者（4,700名）に、年上の世代に言われてなんのことだかわからなかった言葉を聞いたところ、1位「アベック」（34名）、2位「チョベリグ/チョベリバ」（23名）、3位「ナウい」（17名）、4位「半ドン」（12名）、5位「テレコ」（11名）となりました。1960年代から1980年代頃に使用されていた、男女の二人連れを意味する「アベック」や、1996年に新語・流行語大賞のトップテンに選ばれた「チョベリグ/チョベリバ」といった言葉は、現代の20代にはピンと来ないようです。また、完全週休二日制の普及により制度自体が過去のものとなった「半ドン」や、バブル時代を象徴する「アッシー」、昭和のビジネス用語「鉛筆なめなめ」「一丁目一番地」も10位以内にランクインしました。

◆年上の世代に言われてなんのことだかわからなかった言葉（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	名	言葉の意味
1位	アベック	34	男女の二人連れ
2位	チョベリグ/チョベリバ	23	とても良い/とても悪い
3位	ナウい	17	流行に合っている
4位	半ドン	12	半日休み・午後半休
5位	テレコ	11	入れ違い、あべこべになっている状態
6位	アッシー	7	車で女性の送迎をする男性
	えもんかけ	7	ハンガー（本来は和装用のハンガー）
	鉛筆なめなめ	7	真剣に取り組む・数字を都合よく調整する
	ズック	7	布製の運動靴
10位	とりま	6	とりあえず、まあ
	チョンボ	6	失敗・ミス（本来は麻雀用語）
	一丁目一番地	6	最初に着手すべき最優先事項
	卍・マジ卍	6	感情が高ぶったとき、強調するときなどに使われた言葉

次に、年上の世代に言って伝わらなかった言葉を聞いたところ、1位「エモい」（87名）、2位「ワンチャン」（56名）、3位「り・りよ」「草」（いずれも30名）、5位「タイパ」（22名）となりました。感動や懐かしさ、ときめき、切なさなど、さまざまな感情を表現する言葉である「エモい」が多く挙げられる結果となりました。また、不確かな状況を表す「ワンチャン」や、LINEの返信などで「了解」を略して使われる「り・りよ」、ネットスラングとして広く使われる「草」なども、年上世代には伝わりにくいようです。年上世代に伝わらなかった言葉として7位に挙げられた「とりま」は、“年上世代に言われて意味がわからなかった言葉”でも10位に挙がっており、世代間によって伝わらない言葉となっているケースが、お互いにとってあるようです。

◆年上の世代に言って伝わらなかった言葉（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	名	言葉の意味
1位	エモい	87	強く心を動かされる
2位	ワンチャン	56	チャンスがある・可能性がある
3位	り・りよ	30	了解
	草	30	面白い・笑える
5位	タイパ	22	タイムパフォーマンス（時間対効果）
6位	メロい	20	メロメロになるほど魅力的
7位	それな	18	自分もそう思う
	とりま	18	とりあえず、まあ
9位	バ先	14	アルバイト先
	びえん	14	泣いている様子を表現する言葉

◆20代のお金に関する意識・実態について

・生活費に対する不安は？「現在の生活費が不安」61%、不安度が最も高かったのは長野県と和歌山県
 「老後の生活費が不安」65%、宮崎県では79%に

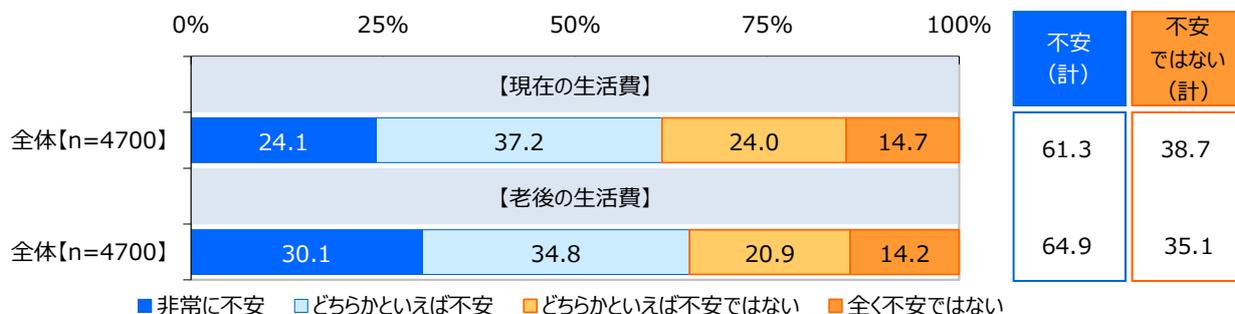
お金に関する意識・実態について質問しました。

はじめに、全回答者（4,700名）に、生活費について不安を感じているか聞きました。

【現在の生活費】では「非常に不安」は24.1%、「どちらかといえば不安」は37.2%で、合計した『不安（計）』は61.3%、「全く不安ではない」は14.7%、「どちらかといえば不安ではない」は24.0%で、合計した『不安ではない（計）』は38.7%となりました。

【老後の生活費】では『不安（計）』は64.9%、『不安ではない（計）』は35.1%となり、老後の生活費に不安を感じている人が多数派ということがわかりました。

◆生活費について不安を感じているか（各単一回答形式）



都道府県別にみると、【現在の生活費】では『不安（計）』が最も高かったのは長野県と和歌山県（いずれも71.0%）でした。【老後の生活費】では『不安（計）』が最も高かったのは宮崎県（79.0%）で、8割近くになりました。また、現在の生活費への不安度で1位となった長野県が老後の生活費への不安度でも2位にランクインしました。

◆生活費について不安を感じている人の割合（単一回答形式）※上位10位までを表示
 各都道府県[n=100]

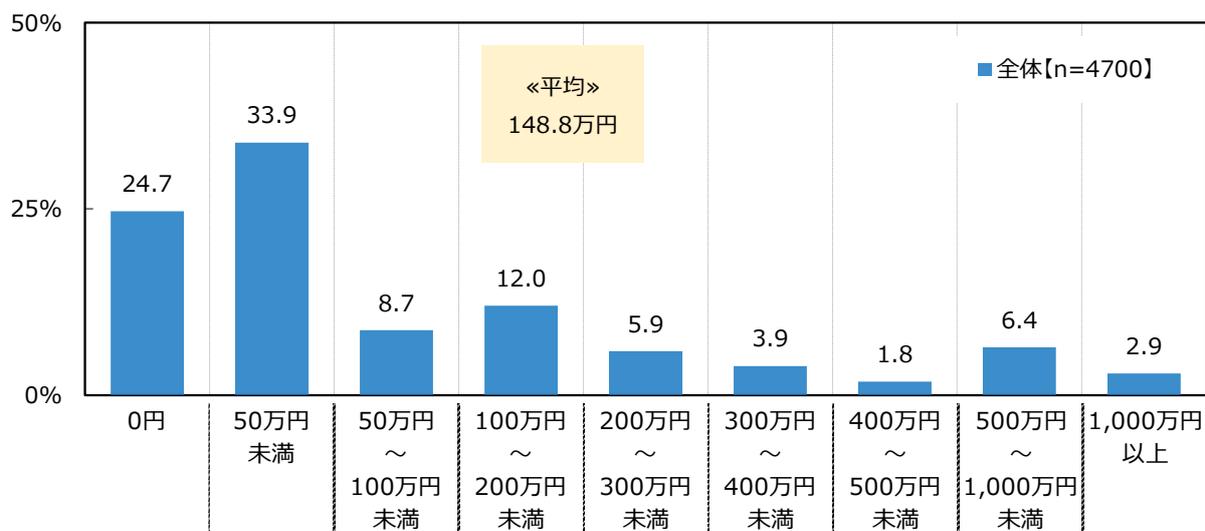
【現在の生活費】			【老後の生活費】		
		%			%
1位	長野県	71.0	1位	宮崎県	79.0
	和歌山県	71.0	2位	長野県	77.0
3位	徳島県	70.0		高知県	77.0
	高知県	70.0	4位	山梨県	74.0
5位	富山県	68.0	5位	富山県	73.0
	宮崎県	68.0	6位	石川県	71.0
7位	新潟県	66.0		徳島県	71.0
	山梨県	66.0	8位	新潟県	70.0
	広島県	66.0		和歌山県	70.0
	沖縄県	66.0		沖縄県	70.0

・20代の現在の貯蓄額 平均は149万円、一方で4人に1人が「0円」に

・60歳までに貯めたいと思う目標の貯蓄額 平均は3,049万円

全回答者（4,700名）に、現在の貯蓄額はいくらか聞いたところ、「50万円未満」（33.9%）に最も多くの回答が集まったほか、「50万円～100万円未満」（8.7%）や「100万円～200万円未満」（12.0%）にも回答が集まり、平均は148.8万円でした。また、「0円」は24.7%となりました。平均の貯蓄額は100万円を上回った一方、貯蓄ができていない人も少なくないことが明らかになりました。

◆現在の貯蓄額はいくらか（数値入力形式）



都道府県別にみると、現在の貯蓄額の平均が最も高くなったのは愛媛県で平均は282.0万円、次いで、大阪府（256.1万円）、滋賀県（234.1万円）、佐賀県（228.8万円）、島根県（225.2万円）となりました。また、最も低くなったのは青森県（72.6万円）で、最高額の愛媛県と比較すると209.4万円の差がみられました。

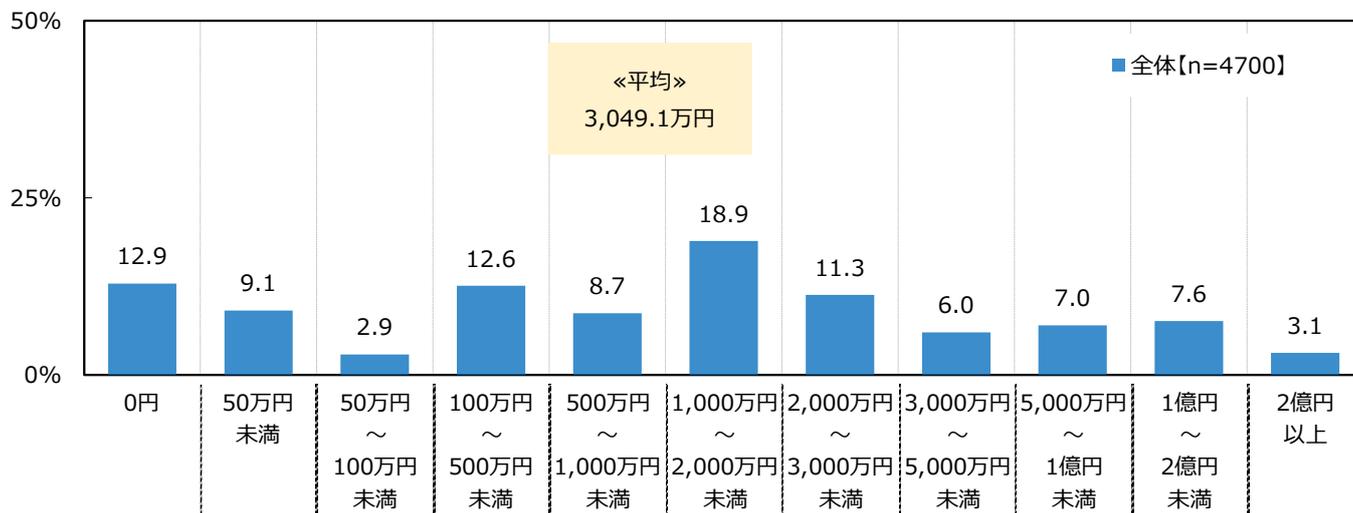
◆現在の貯蓄額の平均（数値入力形式）

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	平均貯蓄額 (万円)
1位	愛媛県	282.0
2位	大阪府	256.1
3位	滋賀県	234.1
4位	佐賀県	228.8
5位	島根県	225.2
6位	愛知県	213.4
7位	京都府	212.6
8位	宮城県	206.1
9位	岐阜県	205.3
10位	山口県	204.8
11位	北海道	204.4
12位	福井県	195.7
13位	香川県	184.7
14位	広島県	164.9
15位	三重県	158.2
16位	鹿児島県	154.6
17位	埼玉県	150.3
18位	石川県	147.4
19位	岩手県	145.8
20位	千葉県	140.1
21位	新潟県	139.7
22位	兵庫県	135.2
23位	静岡県	132.2
24位	神奈川県	129.4
25位	高知県	129.3
26位	長野県	128.8
27位	東京都	125.8
28位	栃木県	125.3
29位	奈良県	125.2
30位	和歌山県	124.0
31位	徳島県	122.9
32位	山梨県	122.1
33位	岡山県	119.6
34位	富山県	118.2
35位	山形県	116.4
36位	熊本県	113.1
37位	福岡県	111.0
38位	福島県	108.9
39位	宮崎県	106.3
40位	茨城県	105.9
41位	群馬県	104.4
42位	大分県	103.5
43位	沖縄県	92.1
44位	鳥取県	91.9
45位	長崎県	87.6
46位	秋田県	87.0
47位	青森県	72.6

続いて、60歳までに貯めたいと思う目標の貯蓄額はいくらか聞いたところ、「1,000万円～2,000万円未満」（18.9%）に最も多くの回答が集まったほか、「0円」（12.9%）や「100万円～500万円未満」（12.6%）、「2,000万円～3,000万円未満」（11.3%）にも回答が集まり、平均は3,049.1万円となりました。

◆60歳までに貯めたいと思う目標の貯蓄額はいくらか（数値入力形式）



都道府県別にみると、目標の貯蓄額の平均が最も高くなったのは大阪府で 5,520.1 万円となりました。次いで、山口県（5,043.1 万円）、東京都（4,663.4 万円）、千葉県（4,580.9 万円）、鳥取県（4,125.5 万円）が高くなりました。また、最も低くなったのは、「岩手県」で 1,677.2 万円でした。

◆60歳までに貯めたいと思う目標の貯蓄額の平均（数値入力形式）

各都道府県 [n=100]

順位	都道府県	平均貯蓄額 (万円)
1位	大阪府	5,520.1
2位	山口県	5,043.1
3位	東京都	4,663.4
4位	千葉県	4,580.9
5位	鳥取県	4,125.5
6位	埼玉県	4,075.0
7位	奈良県	4,027.9
8位	秋田県	3,941.6
9位	福岡県	3,892.0
10位	三重県	3,854.3
11位	福井県	3,827.0
12位	京都府	3,628.8
13位	香川県	3,578.5
14位	愛媛県	3,509.3
15位	滋賀県	3,482.0
16位	島根県	3,420.4
17位	北海道	3,404.3
18位	静岡県	3,354.8
19位	沖縄県	3,240.2
20位	高知県	3,102.9
21位	岐阜県	3,008.7
22位	長野県	2,967.7
23位	愛知県	2,961.9
24位	神奈川県	2,859.7
25位	宮城県	2,803.5
26位	熊本県	2,777.0
27位	栃木県	2,730.7
28位	富山県	2,715.1
29位	新潟県	2,692.7
30位	岡山県	2,685.6
31位	福島県	2,668.3
32位	徳島県	2,575.8
33位	石川県	2,440.0
34位	山梨県	2,420.0
35位	広島県	2,369.0
36位	長崎県	2,331.6
37位	佐賀県	2,315.3
38位	鹿児島県	2,262.4
39位	青森県	2,145.0
40位	茨城県	2,128.1
41位	兵庫県	2,110.2
42位	群馬県	2,069.9
43位	宮崎県	1,957.9
44位	大分県	1,924.7
45位	山形県	1,747.3
46位	和歌山県	1,690.2
47位	岩手県	1,677.2

・自身のマネーリテラシーに対する自信度

**自信がある人の割合は？「家計管理に関するリテラシー」34%、「資産運用に関するリテラシー」25%、
「ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー」33%、「お金のトラブルに関するリテラシー」38%
栃木県と群馬県では「お金のトラブルに関するリテラシー」への自信がある人が半数以上**

次に、毎月の収支を管理する知識や能力などを意味する【家計管理に関するリテラシー】、投資や金融資産に関する知識や能力などを意味する【資産運用に関するリテラシー】、人生設計を立てる・見直すことに関する知識や能力などを意味する【ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー】、トラブルに遭わない・トラブルに適切に対処する知識や能力などを意味する【お金のトラブルに関するリテラシー】の4つの項目のマネーリテラシーについて、それぞれ自信があるか聞きました。

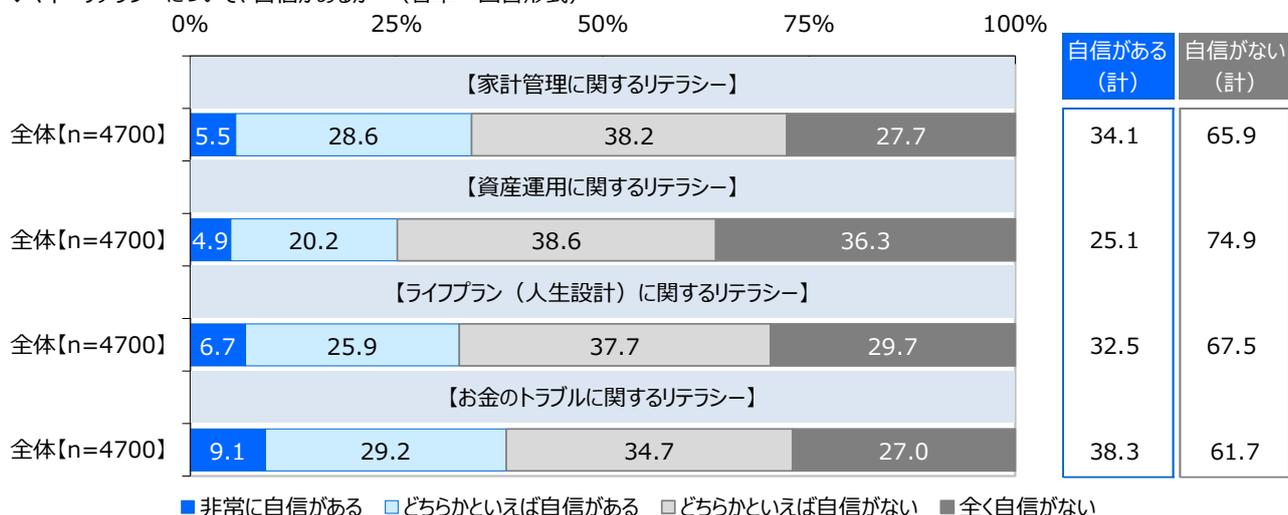
【家計管理に関するリテラシー】では、「非常に自信がある」が5.5%、「どちらかといえば自信がある」が28.6%で、合計した『自信がある（計）』は34.1%、「全く自信がない」が27.7%、「どちらかといえば自信がない」が38.2%で、合計した『自信がない（計）』は65.9%となりました。

【資産運用に関するリテラシー】では、『自信がある（計）』が25.1%、『自信がない（計）』は74.9%となりました。

【ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー】では、『自信がある（計）』が32.5%、『自信がない（計）』は67.5%でした。

【お金のトラブルに関するリテラシー】では、『自信がある（計）』が38.3%、『自信がない（計）』は61.7%で、どの項目においても自信がない人が多数派となり、特に【資産運用に関するリテラシー】では自信がない人が4人に3人でした。資産運用については知識や判断力が足りないと感じている20代が多いのではないのでしょうか。

◆マネーリテラシーについて、自信があるか（各単一回答形式）



都道府県別にみると、【家計管理に関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高かったのは千葉県（47.0%）で、東京都（44.0%）、青森県（43.0%）、大阪府と熊本県（いずれも 42.0%）が続きました。最も低かったのは新潟県、山梨県、長崎県（いずれも 25.0%）でした。

◆【家計管理に関するリテラシー】について自信がある人の割合（単一回答形式）

各都道府県【n=100】

		%			%			%			%
1位	千葉県	47.0	10位	広島県	38.0	22位	長野県	34.0	36位	茨城県	30.0
			13位	北海道	37.0	22位	福岡県	34.0	36位	香川県	30.0
2位	東京都	44.0	13位	島根県	37.0	26位	岩手県	33.0	38位	富山県	29.0
3位	青森県	43.0	13位	鹿児島県	37.0	26位	三重県	33.0	38位	岡山県	29.0
4位	大阪府	42.0	16位	滋賀県	36.0	26位	奈良県	33.0	38位	愛媛県	29.0
4位	熊本県	42.0	16位	和歌山県	36.0	26位	徳島県	33.0	41位	兵庫県	28.0
6位	群馬県	41.0	18位	宮城県	35.0	26位	佐賀県	33.0	41位	高知県	28.0
7位	埼玉県	40.0	18位	神奈川県	35.0	31位	石川県	32.0	43位	福井県	26.0
7位	愛知県	40.0	18位	岐阜県	35.0	31位	静岡県	32.0	43位	沖縄県	26.0
9位	京都府	39.0	18位	宮崎県	35.0	33位	栃木県	31.0	45位	新潟県	25.0
10位	秋田県	38.0	22位	山形県	34.0	33位	山口県	31.0	45位	山梨県	25.0
10位	鳥取県	38.0	22位	福島県	34.0	33位	大分県	31.0	45位	長崎県	25.0

【資産運用に関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高かったのは東京都（35.0%）、京都府と愛媛県（いずれも 34.0%）、青森県、福島県、茨城県、千葉県（いずれも 32.0%）の順となりました。最も低かったのは山口県（15.0%）で、自信がある人の割合は 2 割未満にとどまりました。

◆【資産運用に関するリテラシー】について自信がある人の割合（単一回答形式）

各都道府県【n=100】

		%			%			%			%
1位	東京都	35.0	12位	栃木県	29.0	22位	岡山県	24.0	34位	大分県	21.0
			12位	埼玉県	29.0	22位	広島県	24.0	34位	宮崎県	21.0
2位	京都府	34.0	12位	大阪府	29.0	22位	徳島県	24.0	34位	鹿児島県	21.0
2位	愛媛県	34.0	15位	北海道	28.0	27位	新潟県	23.0	34位	沖縄県	21.0
4位	青森県	32.0	15位	岐阜県	28.0	27位	長野県	23.0	40位	福井県	20.0
4位	福島県	32.0	17位	和歌山県	27.0	27位	長崎県	23.0	40位	山梨県	20.0
4位	茨城県	32.0	18位	愛知県	26.0	30位	秋田県	22.0	40位	三重県	20.0
4位	千葉県	32.0	19位	宮城県	25.0	30位	富山県	22.0	40位	島根県	20.0
8位	山形県	31.0	19位	石川県	25.0	30位	静岡県	22.0	40位	高知県	20.0
8位	神奈川県	31.0	19位	兵庫県	25.0	30位	滋賀県	22.0	40位	佐賀県	20.0
10位	群馬県	30.0	22位	奈良県	24.0	34位	岩手県	21.0	46位	香川県	18.0
10位	福岡県	30.0	22位	鳥取県	24.0	34位	熊本県	21.0	47位	山口県	15.0

【ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高くなったのは青森県（44.0%）となり、福島県、群馬県、東京都（いずれも 42.0%）、秋田県と栃木県（いずれも 39.0%）が続きました。自信がある人の割合が最も低くなったのは【資産運用に関するリテラシー】と同様に山口県（19.0%）で、ライフプランについても2割を下回りました。

◆【ライフプラン（人生設計）に関するリテラシー】について自信がある人の割合（単一回答形式）

各都道府県【n=100】

		%			%			%			%
1位	青森県	44.0	11位	大阪府	36.0	22位	徳島県	32.0	34位	山梨県	29.0
2位	福島県	42.0	11位	長崎県	36.0	25位	北海道	31.0	34位	愛知県	29.0
2位	群馬県	42.0	14位	岩手県	35.0	25位	千葉県	31.0	34位	沖縄県	29.0
2位	東京都	42.0	14位	岐阜県	35.0	25位	岡山県	31.0	39位	福井県	28.0
5位	秋田県	39.0	14位	兵庫県	35.0	25位	愛媛県	31.0	39位	佐賀県	28.0
5位	栃木県	39.0	14位	鳥取県	35.0	25位	熊本県	31.0	39位	大分県	28.0
7位	宮城県	38.0	14位	広島県	35.0	25位	鹿児島県	31.0	42位	三重県	26.0
7位	神奈川県	38.0	19位	福岡県	34.0	31位	静岡県	30.0	42位	高知県	26.0
7位	和歌山県	38.0	20位	山形県	33.0	31位	滋賀県	30.0	44位	富山県	25.0
10位	茨城県	37.0	20位	長野県	33.0	31位	宮崎県	30.0	44位	石川県	25.0
11位	京都府	36.0	22位	奈良県	32.0	34位	埼玉県	29.0	44位	香川県	25.0
			22位	島根県	32.0	34位	新潟県	29.0	47位	山口県	19.0

【お金のトラブルに関するリテラシー】では、自信がある人の割合が最も高くなったのは栃木県と群馬県（いずれも 51.0%）で、自信がある人が半数以上いるという結果になりました。以降、福島県、茨城県、鳥取県（いずれも 49.0%）が続きました。また、最も低くなったのは滋賀県（24.0%）でした。

◆【お金のトラブルに関するリテラシー】について自信がある人の割合（単一回答形式）

各都道府県【n=100】

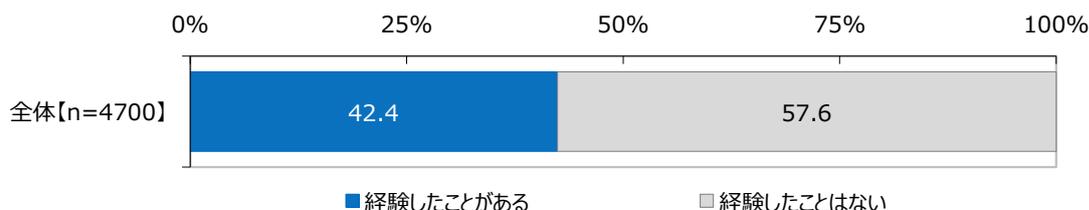
		%			%			%			%
1位	栃木県 群馬県	51.0	12位	宮城県	43.0	23位	愛知県	37.0	32位	高知県	34.0
3位	福島県	49.0	13位	秋田県	42.0	23位	熊本県	37.0	32位	大分県	34.0
3位	茨城県	49.0	13位	山形県	42.0	26位	福井県	36.0	32位	鹿児島県	34.0
3位	鳥取県	49.0	13位	広島県	42.0	26位	香川県	36.0	39位	岩手県	33.0
6位	青森県	48.0	13位	福岡県	42.0	28位	石川県	35.0	40位	静岡県	32.0
7位	京都府	47.0	17位	神奈川県	41.0	28位	岐阜県	35.0	40位	佐賀県	32.0
8位	東京都	46.0	18位	和歌山県	40.0	28位	岡山県	35.0	42位	三重県	31.0
8位	兵庫県	46.0	18位	島根県	40.0	28位	愛媛県	35.0	42位	宮崎県	31.0
10位	北海道	45.0	20位	山梨県	39.0	32位	千葉県	34.0	44位	長崎県	29.0
10位	大阪府	45.0	20位	徳島県	39.0	32位	富山県	34.0	45位	沖縄県	28.0
			22位	埼玉県	38.0	32位	長野県	34.0	46位	山口県	27.0
			23位	新潟県	37.0	32位	奈良県	34.0	47位	滋賀県	24.0

・お金に関するトラブルを経験したことがある 20代は 42%

経験したことがある消費・お金に関するトラブル「クレジットカードの不正利用」「ワンクリック詐欺」も上位に

全回答者（4,700名）に、消費・お金に関するトラブルを経験したことがあるか聞いたところ、「経験したことがある」は42.4%、「経験したことはない」は57.6%となりました。

◆消費・お金に関するトラブルを経験したことがあるか



都道府県別にみると、消費・お金に関するトラブルの経験率が最も高かったのは、福島県（59.0%）で、次いで茨城県（55.0%）、群馬県と東京都（いずれも53.0%）、栃木県（52.0%）となりました。【お金のトラブルに関するリテラシー】に対する自信度が51.0%で1位となった群馬県が経験率では3位、同じく自信度1位の栃木県が経験率5位、49.0%で自信度3位となった福島県が経験率では1位、同じく自信度3位の茨城県が経験率では2位となり、お金のトラブルに関するリテラシーへの自信度が高い都道府県が経験率でも上位に入る結果となりました。トラブルを経験したことによってリテラシーを身に着けた20代も多いのかもしれませんが。

◆消費・お金に関するトラブルを経験したことがある人の割合

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	割合 (%)
1位	福島県	59.0
2位	茨城県	55.0
3位	群馬県	53.0
3位	東京都	53.0
5位	栃木県	52.0
6位	秋田県	51.0
7位	宮城県	50.0
8位	岩手県	47.0
8位	埼玉県	47.0
8位	石川県	47.0
8位	山梨県	47.0
12位	青森県	46.0
12位	山形県	46.0
12位	千葉県	46.0
12位	京都府	46.0
16位	神奈川県	45.0
16位	大阪府	45.0
16位	長崎県	45.0
19位	北海道	44.0
19位	福井県	44.0
19位	大分県	44.0
22位	岐阜県	43.0
22位	愛知県	43.0
22位	和歌山県	43.0
22位	沖縄県	43.0
26位	徳島県	42.0
26位	福岡県	42.0
28位	滋賀県	41.0
28位	奈良県	41.0
30位	香川県	40.0
31位	新潟県	39.0
31位	鹿児島県	39.0
33位	三重県	38.0
33位	岡山県	38.0
33位	熊本県	38.0
36位	広島県	37.0
36位	佐賀県	37.0
36位	宮崎県	37.0
39位	静岡県	36.0
39位	兵庫県	36.0
39位	愛媛県	36.0
42位	鳥取県	34.0
43位	長野県	33.0
43位	高知県	33.0
45位	富山県	32.0
46位	島根県	31.0
46位	山口県	31.0

消費・お金に関するトラブルを経験したことがある人（1,995名）に、経験したことがある“消費・お金に関するトラブル”を聞いたところ、最も高くなったのは「クレジットカードの使いすぎ」（24.8%）、次いで「クレジットカードの不正利用」（16.3%）、「知人・友人との貸し借り」（15.9%）、「ワンクリック詐欺」（13.9%）、「後払い・分割払い・リボ払いでの使いすぎ」（13.0%）となりました。クレジットカードの不正利用やワンクリック詐欺といった詐欺行為に巻き込まれた経験がある人は少なくないようです。

◆経験したことがある“消費・お金に関するトラブル”（複数回答形式）※上位10位までを表示

対象：“消費・お金に関するトラブル”を経験したことがある人

全体【n=1995】

		%			%
1位	クレジットカードの使いすぎ	24.8%	6位	フリマサイト・ネットオークション詐欺 (商品が届かなかった・不良品が届いたなど)	11.9%
2位	クレジットカードの不正利用 (自分の情報が盗まれカードが使われるなど)	16.3%		サブスク・定期購入のトラブル (解約ができないなど)	11.9%
3位	知人・友人との貸し借り (貸したお金がかえってこないなど)	15.9%		無料商法 (「無料」「お試し」といった言葉で誘われ 商品やサービスを購入させられるなど)	11.9%
4位	ワンクリック詐欺 (URLを一度クリックしただけで、 多額の料金を請求されるなど)	13.9%	9位	虚偽・誇大広告の被害 (実際よりも優れていると偽っている 広告の商品を購入など)	11.5%
5位	後払い・分割払い・リボ払いでの使いすぎ	13.0%	10位	高額な美容・エステ・脱毛契約	9.5%

◆20代の仕事に関する意識・実態について

・現在の仕事に対する満足度

「仕事内容」55%、「職場環境」53%、「職場の人間関係」58%、「自己成長の機会」56%、「給与・待遇」44%

・「仕事内容」の満足度1位は青森県、「職場環境」と「職場の人間関係」の満足度1位は東京都、

「自己成長の機会」の満足度1位は岐阜県、「給与・待遇」の満足度1位は秋田県

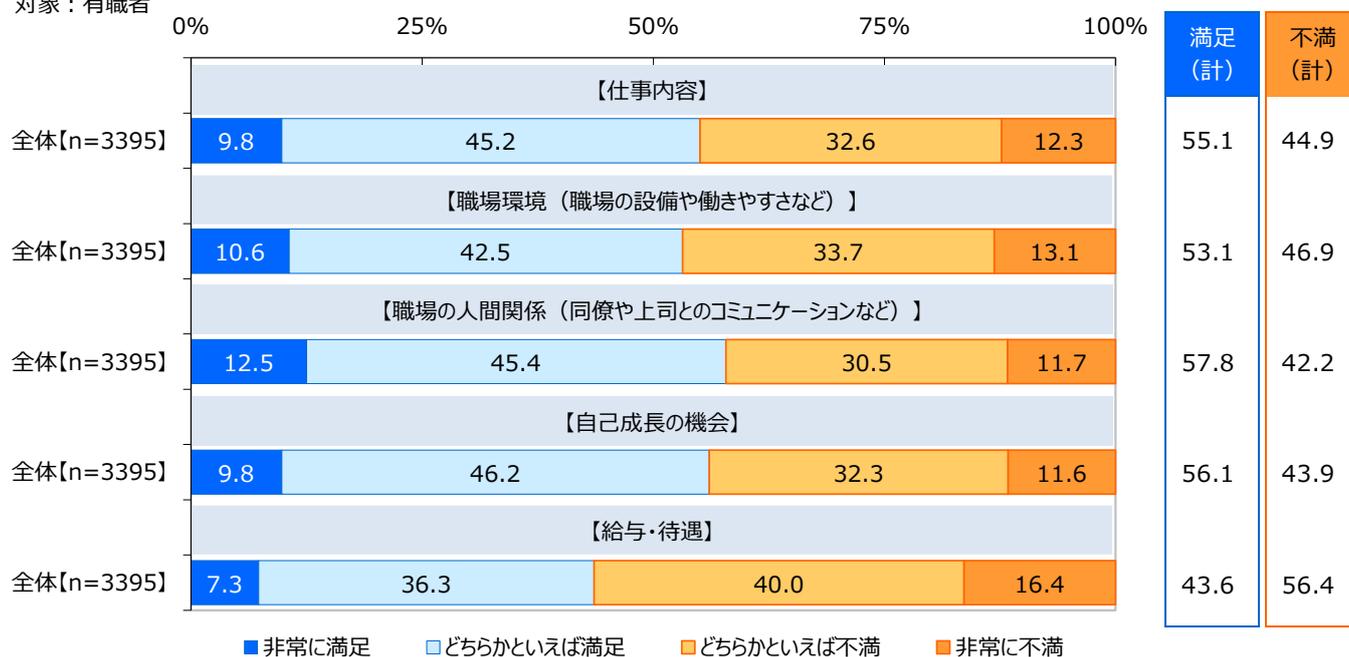
現在の仕事について質問しました。

有職者（3,395名）に、現在の仕事に対してどのくらい満足しているか聞いたところ、【仕事内容】では「非常に満足」が9.8%、「どちらかといえば満足」が45.2%で、合計した『満足（計）』は55.1%、「非常に不満」が12.3%、「どちらかといえば不満」が32.6%で、合計した『不満（計）』は44.9%となりました。今の仕事に充実感や納得感を持って取り組んでいる人が多いようです。

また、【職場環境（職場の設備や働きやすさなど）】では『満足（計）』は53.1%、【職場の人間関係（同僚や上司とのコミュニケーションなど）】では57.8%、【自己成長の機会】では56.1%と、いずれも満足している人が多数派となったのに対し、【給与・待遇】では『満足（計）』は43.6%、『不満（計）』は56.4%と、不満層が満足層を上回る結果となりました。

◆現在の仕事に対してどのくらい満足しているか（各単一回答形式）

対象：有職者



都道府県別にみると、現在の仕事に対して満足している人の割合が最も高くなったのは、【仕事内容】では青森県（67.2%）、【職場環境】では東京都（66.7%）、【職場の人間関係】では東京都（70.7%）、【自己成長の機会】では岐阜県（68.8%）、【給与・待遇】では秋田県（58.7%）でした。一方、山口県では5つの項目のうち、【仕事内容】（39.7%）、【職場環境】（39.7%）、【職場の人間関係】（42.6%）、【給与・待遇】（30.9%）の4つの項目において満足している人の割合が最も低くなっており、現在の仕事に対して、不満を抱いている20代が少なくないことがわかりました。

◆現在の仕事に対して満足している人の割合（単一回答形式）※上位5位・下位5位をそれぞれ表示
対象：有職者

	【仕事内容】	%		【職場環境】	%
1位	青森県[n=67]	67.2	1位	東京都[n=75]	66.7
2位	熊本県[n=70]	65.7	2位	熊本県[n=70]	62.9
3位	大阪府[n=71]	64.8	3位	福井県[n=76]	61.8
4位	広島県[n=69]	63.8	4位	沖縄県[n=72]	61.1
5位	岐阜県[n=77]	63.6	5位	青森県[n=67]	59.7
		∴			∴
43位	宮城県[n=72]	45.8	43位	宮崎県[n=70]	45.7
44位	静岡県[n=67]	44.8	44位	愛知県[n=83]	43.4
45位	福島県[n=69]	43.5	45位	山梨県[n=76]	42.1
46位	宮崎県[n=70]	41.4	46位	兵庫県[n=62]	41.9
47位	山口県[n=68]	39.7	47位	山口県[n=68]	39.7

	【職場の人間関係】	%		【自己成長の機会】	%		【給与・待遇】	%
1位	東京都[n=75]	70.7	1位	岐阜県[n=77]	68.8	1位	秋田県[n=75]	58.7
2位	奈良県[n=59]	69.5	2位	東京都[n=75]	68.0	2位	埼玉県[n=74]	54.1
3位	千葉県[n=79]	67.1	3位	島根県[n=81]	66.7	3位	群馬県[n=80]	53.8
4位	石川県[n=72]	65.3		広島県[n=69]	66.7	4位	福井県[n=76]	52.6
5位	埼玉県[n=74]	64.9	5位	栃木県[n=73]	65.8	5位	千葉県[n=79]	51.9
		∴			∴			∴
43位	北海道[n=73]	46.6	43位	滋賀県[n=74]	43.2	43位	佐賀県[n=78]	34.6
44位	福島県[n=69]	46.4	44位	岡山県[n=69]	42.0	44位	新潟県[n=70]	34.3
45位	山梨県[n=76]	46.1	45位	岩手県[n=67]	40.3	45位	兵庫県[n=62]	33.9
46位	岩手県[n=67]	43.3		静岡県[n=67]	40.3	46位	岩手県[n=67]	31.3
47位	山口県[n=68]	42.6	47位	石川県[n=72]	38.9	47位	山口県[n=68]	30.9

・仕事のモチベーションがアップするのはどっち？

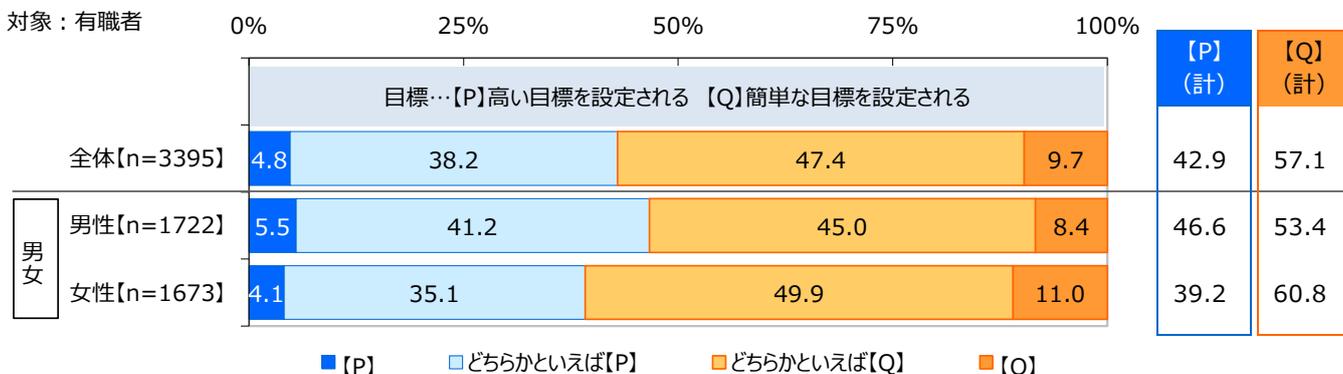
- 「**高い目標を設定される**」より「**簡単な目標を設定される**」57%、
- 「**みんなの前で褒められる**」より「**誰もいないところで褒められる**」58%、
- 「**みんなの前で叱られる**」より「**誰もいないところで叱られる**」65%、
- 「**自分のミスは、“メールで指摘される”**より「**対面で指摘される**」60%、
- 「**自分だけ特別扱いされる**」より「**みんな公平に扱われる**」69%、
- 「**細かく指導される**」より「**自分の好きなようにやらせてくれる**」59%、
- 「**調子が上がらないときは、“頑張れと言われる”**より「**無理しないでと言われる**」62%、
- 「**頑張ったご褒美は、“飲みに連れて行ってくれる”**より「**早くあがらせてくれる**」59%

仕事のモチベーションがアップするのはどのような場合なのでしょう。

有職者（3,395名）に、仕事に関する事柄について2つのケースを提示し、仕事のモチベーションがアップするのはそれぞれどちらか聞いたところ、「目標」では『高い目標を設定される（計）』（「【P】」と「どちらかといえば【P】」の合計、以下同様）が42.9%、『簡単な目標を設定される（計）』（「【Q】」と「どちらかといえば【Q】」の合計、以下同様）が57.1%となりました。目標設定においては、達成が難しいような高い目標ではなく、達成が比較的容易な目標に向けて取り組むようにするほうが、モチベーションが上がると感じる人が多いようです。

男女別にみると、女性では『簡単な目標を設定される（計）』が60.8%と、男性（53.4%）と比べて7.4ポイント高くなりました。

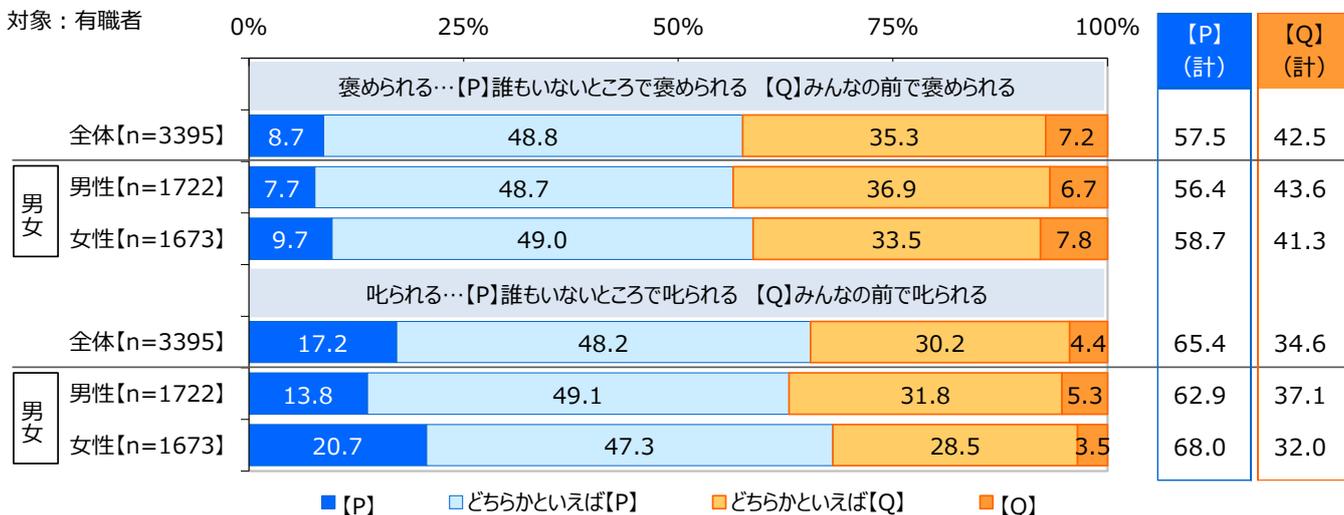
◆仕事のモチベーションがアップするのはどちらか（単一回答形式）



「褒められる」では『誰もいないところで褒められる（計）』が 57.5%、『みんなの前で褒められる（計）』が 42.5%、「叱られる」では『誰もいないところで叱られる（計）』が 65.4%、『みんなの前で叱られる（計）』が 34.6%と、どちらも“誰もいないところ”のほうが多数派となりました。

◆仕事のモチベーションがアップするのはどちらか（各単一回答形式）

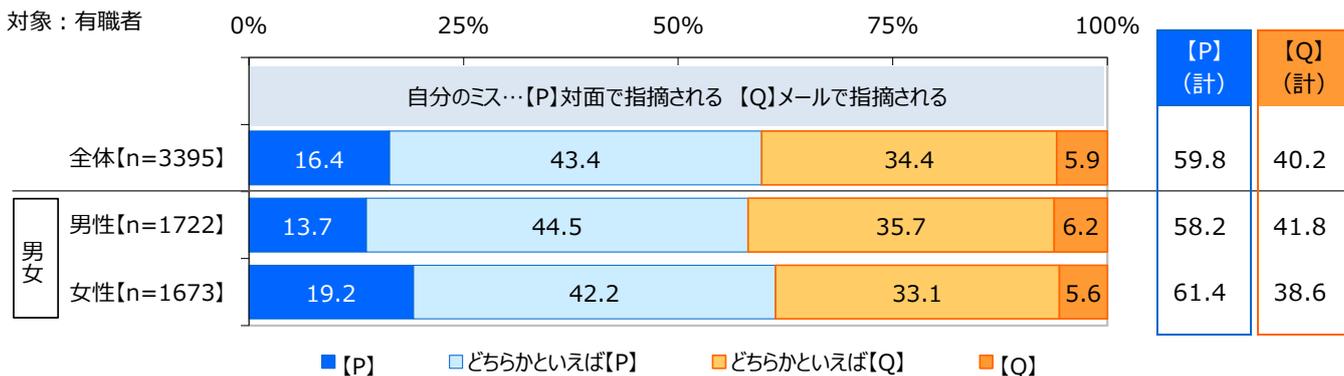
対象：有職者



「自分のミス」では『対面で指摘される（計）』が 59.8%、『メールで指摘される（計）』が 40.2%となりました。対面で直接指摘されるほうが微妙なニュアンスを読み取りやすく、文字での指摘を目にしたときのように必要以上に落ち込んだり考え込んだりすることがなくなると感じる人が多いのではないのでしょうか。

◆仕事のモチベーションがアップするのはどちらか（単一回答形式）

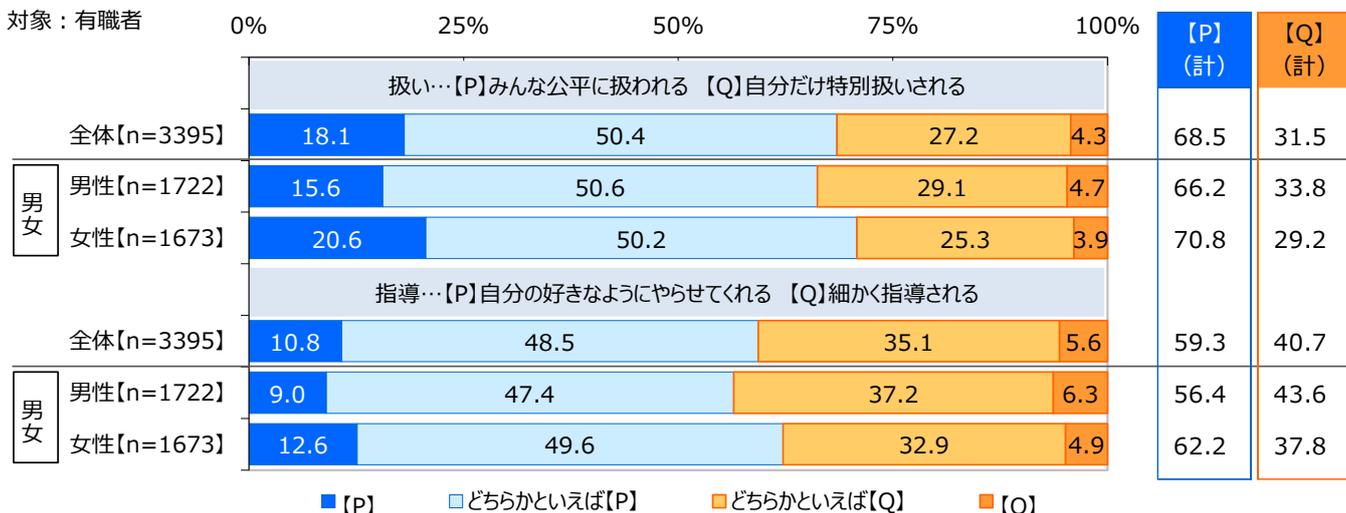
対象：有職者



「扱い」では『みんな公平に扱われる（計）』が 68.5%、『自分だけ特別扱われる（計）』が 31.5%となりました。

「指導」では『自分の好きなようにやらせてくれる（計）』が 59.3%、『細かく指導される（計）』が 40.7%となりました。こと細かに指示出しをされるよりは、自身にある程度任せてもらえるほうが、モチベーションが上がると感じる人が多いのではないのでしょうか。

◆仕事のモチベーションがアップするのはどちらか（各単一回答形式）

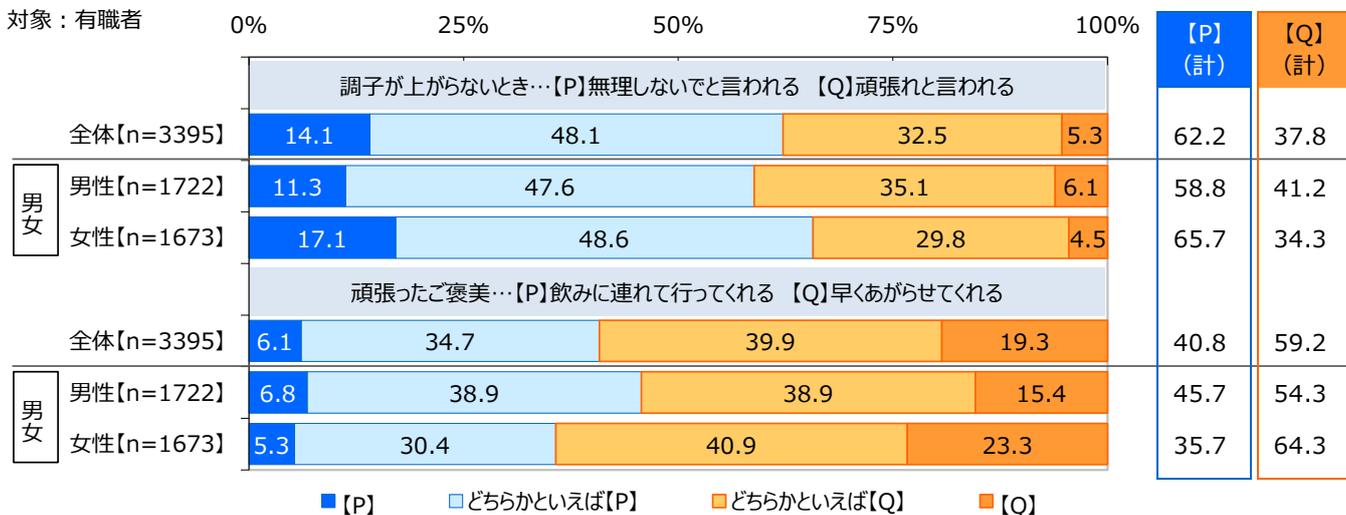


「調子が上がらないとき」では『無理しないでと言われる（計）』が 62.2%、『頑張れと言われる（計）』が 37.8%となりました。「頑張れ」と励まされるよりは労ってくれるほうが嬉しいと感じる人が多いようです。

また、「頑張ったご褒美」では『飲み連れて行ってくれる（計）』が 40.8%、『早くあがらせてくれる（計）』が 59.2%となりました。

男女別にみると、女性では『早くあがらせてくれる（計）』が 64.3%と、男性（54.3%）と比べて 10.0 ポイント高くなりました。

◆仕事のモチベーションがアップするのはどちらか（各単一回答形式）



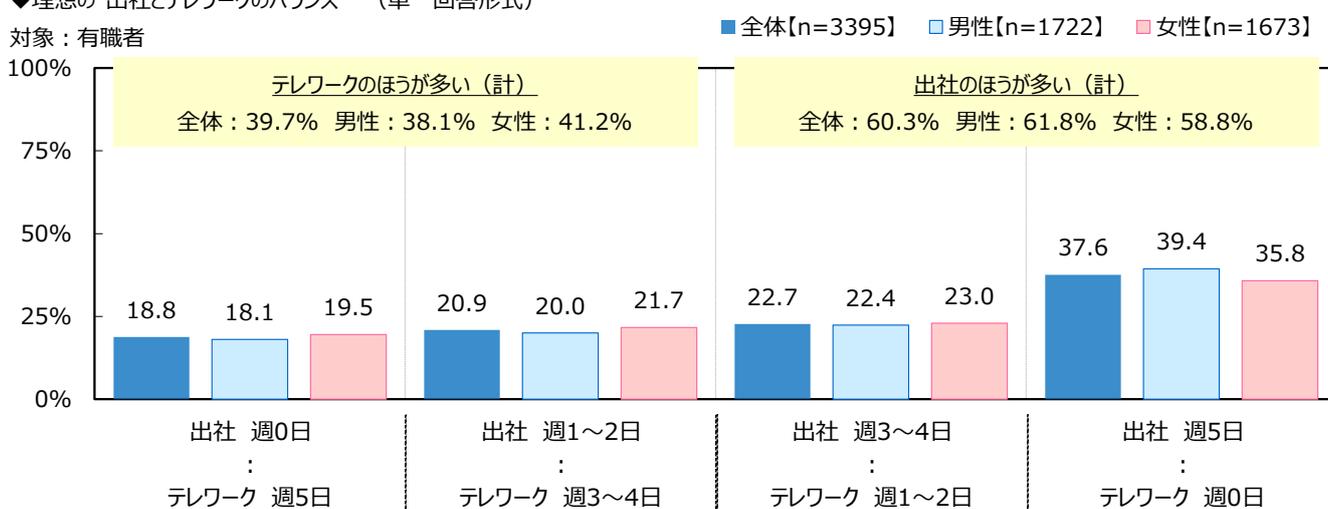
**・勤務スタイルの理想と現実 理想の“出社とテレワークのバランス”は「出社 週5日：テレワーク 週0日」が最多、
実際の“出社とテレワークのバランス”も「出社 週5日：テレワーク 週0日」が最多**

有職者（3,395名）に、理想の“出社とテレワークのバランス”を聞いたところ、「出社 週0日：テレワーク 週5日」が18.8%、「出社 週1～2日：テレワーク 週3～4日」が20.9%、「出社 週3～4日：テレワーク 週1～2日」が22.7%、「出社 週5日：テレワーク 週0日」が37.6%となり、テレワークはせず毎日出社するスタイルが望ましいと考えている人が多数派でした。また、『テレワークのほうが多い（計）』は39.7%、『出社のほうが多い（計）』は60.3%となりました。

男女別にみると、男性では『出社のほうが多い（計）』が61.8%と、女性（58.8%）と比べて3.0ポイント高くなりました。

◆理想の“出社とテレワークのバランス”（単一回答形式）

対象：有職者

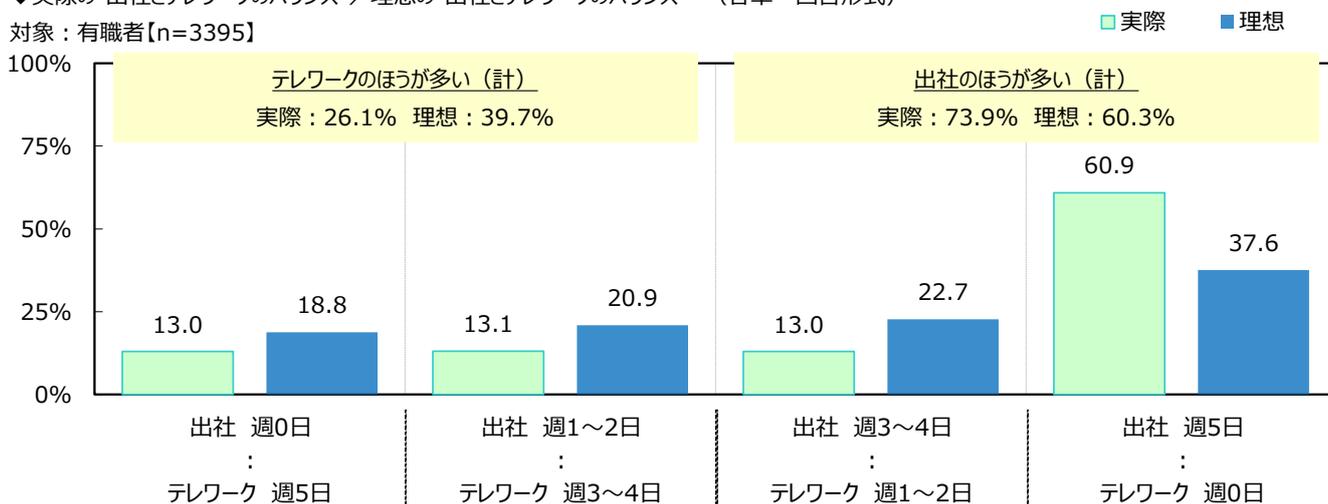


実際の“出社とテレワークのバランス”を聞いたところ、「出社 週0日：テレワーク 週5日」が13.0%、「出社 週1～2日：テレワーク 週3～4日」が13.1%、「出社 週3～4日：テレワーク 週1～2日」が13.0%、「出社 週5日：テレワーク 週0日」が60.9%と、毎日出社している人が多数を占めました。また、『テレワークのほうが多い（計）』は26.1%、『出社のほうが多い（計）』は73.9%となりました。

理想の“出社とテレワークのバランス”と比較すると、『出社のほうが多い（計）』は実際73.9%、理想60.3%と13.6ポイントの差が開きました。

◆実際の“出社とテレワークのバランス”／理想の“出社とテレワークのバランス”（各単一回答形式）

対象：有職者【n=3395】

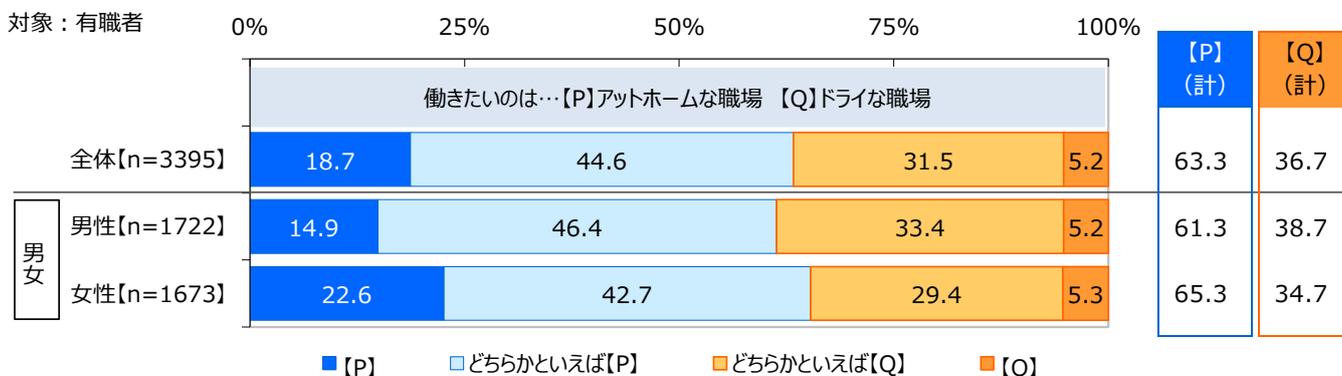


・仕事に関する“どっち”

- 「働きたいのは、“ドライな職場”より“アットホームな職場”」63%、
- 「希望する仕事の進め方は、“個人プレー”より“チームプレー”」53%、
- 「希望する人事評価は、“年功序列型”より“成果主義型”」52%、
- 「将来目指したいのは、“スペシャリスト”より“ゼネラリスト”」52%、
- 「優先させたいのは、“仕事”より“プライベート”」68%

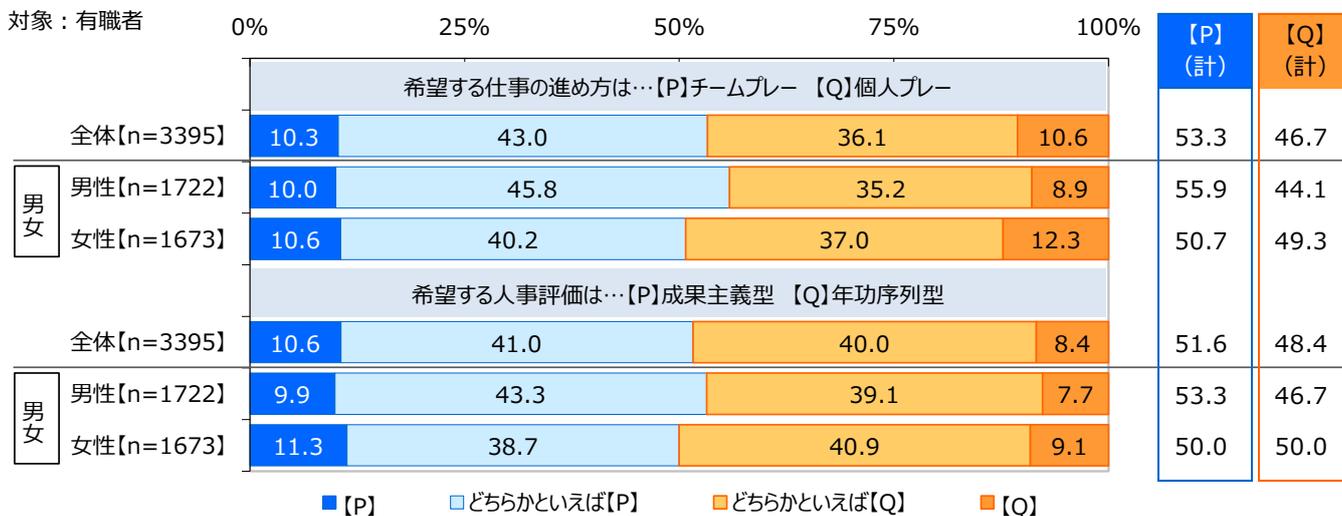
有職者（3,395名）に、仕事に関する考えについて2つのケースを提示し、自身の考えがそれぞれどちらにあてはまるか聞いたところ、「働きたいのは」では『アットホームな職場（計）』が63.3%、『ドライな職場（計）』が36.7%となりました。温かくて良好な人間関係が築かれている職場で働きたいと思う人が多いようです。

◆仕事に関する考えについて、どちらにあてはまるか（単一回答形式）



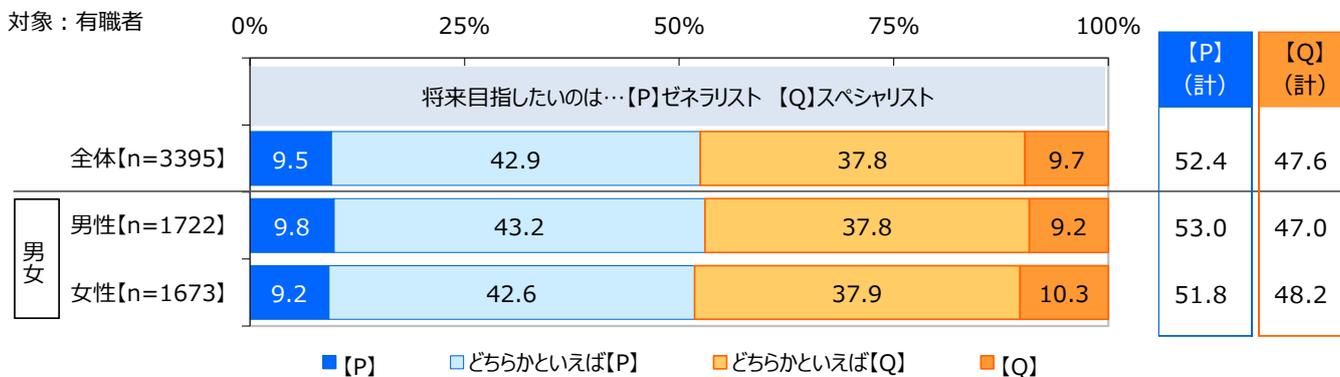
「希望する仕事の進め方は」では『チームプレー（計）』が53.3%、『個人プレー（計）』が46.7%となりました。男女別にみると、男性では『チームプレー（計）』が55.9%と、女性（50.7%）と比べて5.2ポイント高くなりました。また、「希望する人事評価は」では『成果主義型（成果によって給与が決まる）（計）』が51.6%、『年功序列型（勤続年数が長いほど給与水準が高くなる）（計）』が48.4%となりました。

◆仕事に関する考えについて、どちらにあてはまるか（各単一回答形式）



「将来目指したいのは」では『ゼネラリスト（幅広い知識や経験を持ち、様々な業務をこなせる人材）（計）』が 52.4%、『スペシャリスト（特定の分野に特化した専門知識やスキルを持つ人材）（計）』が 47.6%となりました。

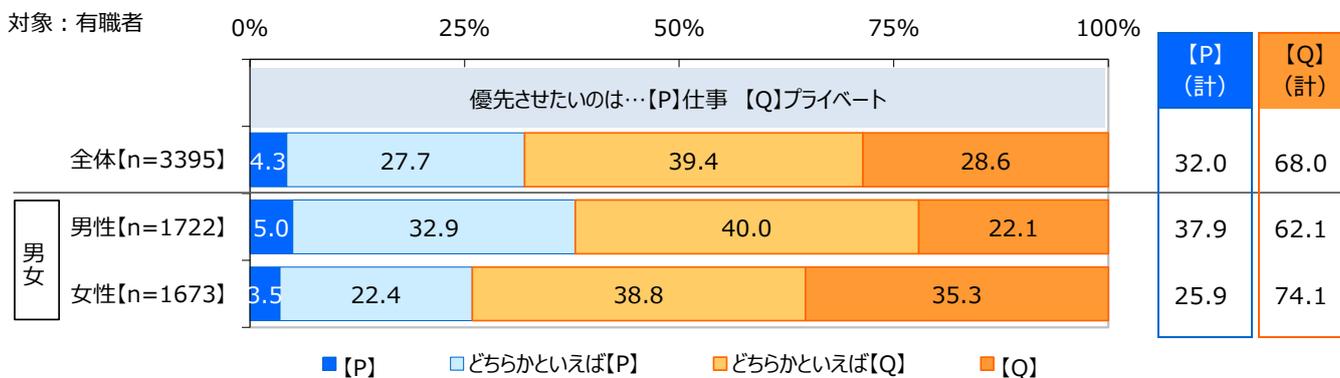
◆仕事に関する考えについて、どちらにあてはまるか（単一回答形式）



「優先させたいのは」では『仕事（計）』が 32.0%、『プライベート（計）』が 68.0%となりました。ワークライフバランスを大切にしたいと思う人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、女性では『プライベート（計）』が 74.1%と、男性（62.1%）と比べて 12.0 ポイント高くなりました。

◆仕事に関する考えについて、どちらにあてはまるか（単一回答形式）

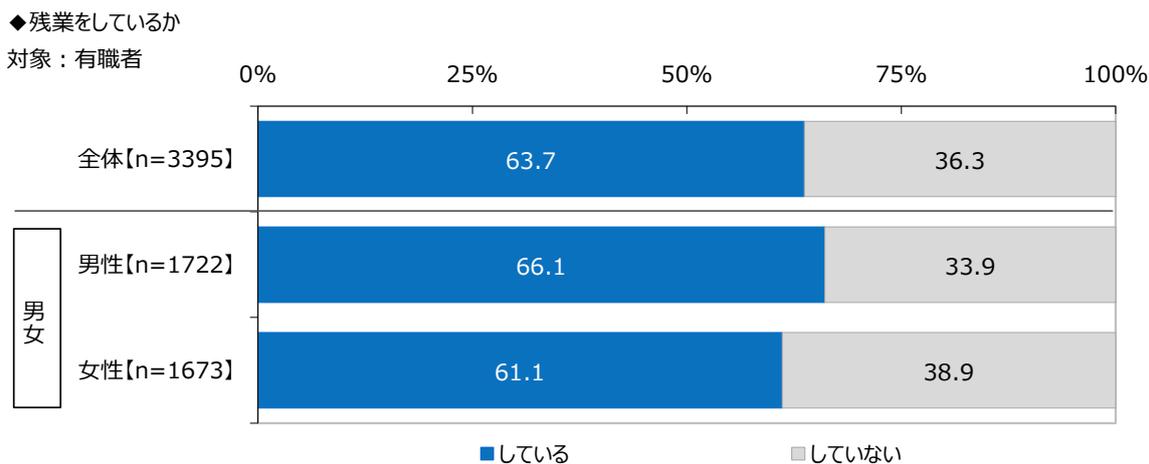


・「残業をしている」有職者の 64%

残業をしている理由 1 位「業務が終わらない」、2 位「残業代がほしい」、3 位「少しでも進めておきたい業務がある」

残業の実態について質問しました。

まず、有職者（3,395 名）に、残業をしているか聞いたところ、「している」は 63.7%、「していない」は 36.3%となりました。

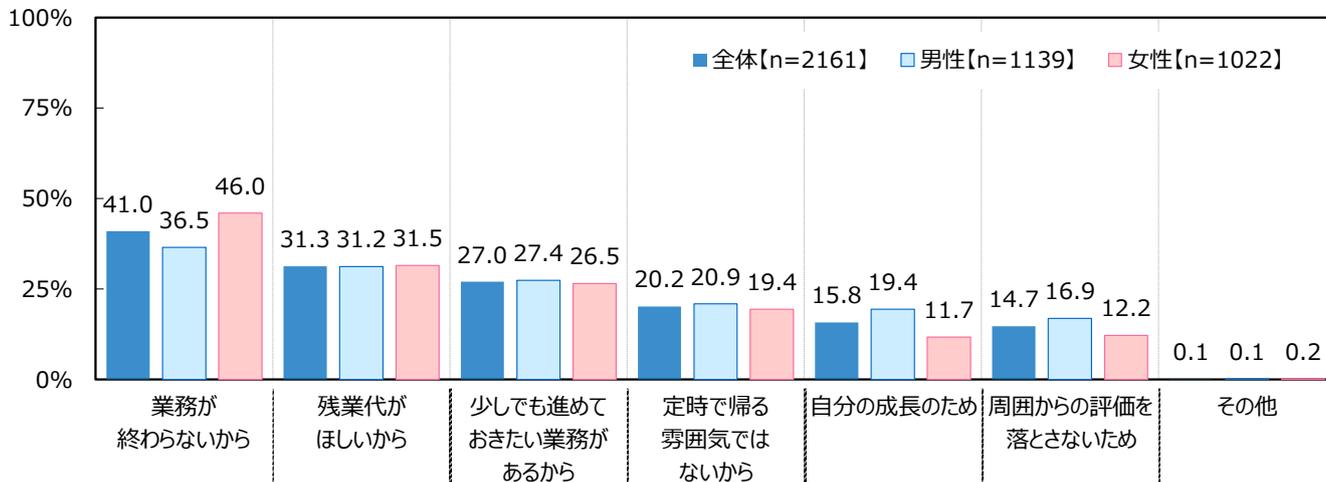


残業をしている人（2,161 名）に、残業をしている理由を聞いたところ、「業務が終わらないから」（41.0%）が最も高くなりました。人手不足や業務過多などで、定時にあがろうと思ってもあがれない状況にある人が多いのではないのでしょうか。以降、「残業代がほしいから」（31.3%）、「少しでも進めておきたい業務があるから」（27.0%）、「定時に帰る雰囲気ではないから」（20.2%）、「自分の成長のため」（15.8%）が続きました。

男女別にみると、男性では「自分の成長のため」が 19.4%と、女性（11.7%）と比べて 7.7 ポイント高くなりました。

◆残業をしている理由（複数回答形式）

対象：有職者で、残業をしている人



◆20代のライフスタイル実態について

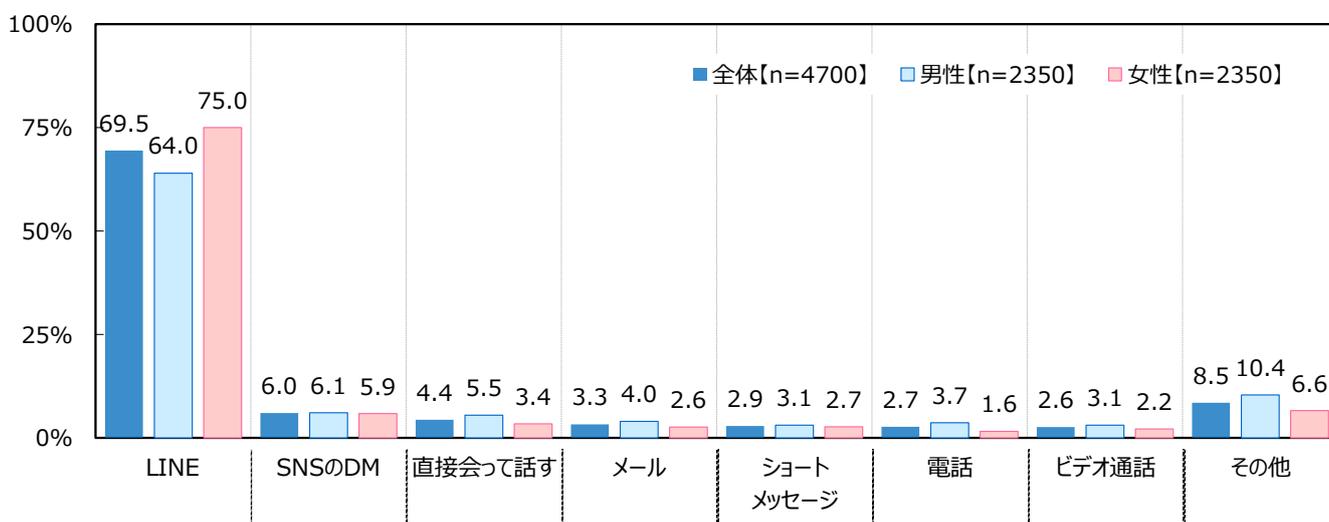
・友だちとの連絡で最も使っている手段「LINE」が70%でダントツ、「SNSのDM」は6%、「直接会って話す」は4%

コミュニケーション手段について質問しました。

全回答者（4,700名）に、友だちとの連絡で最も使っている手段を聞いたところ、「LINE」（69.5%）がダントツとなり、「SNSのDM」（6.0%）、「直接会って話す」（4.4%）、「メール」（3.3%）、「ショートメッセージ」（2.9%）が続きました。

男女別にみると、女性では「LINE」は75.0%と、男性（64.0%）と比べて11.0ポイント高くなりました。

◆友だちとの連絡で最も使っている手段（単一回答形式）



都道府県別にみると、「LINE」と回答した人の割合は石川県（83.0%）が最も高くなり、滋賀県と宮崎県（いずれも81.0%）が続きました。

◆友だちとの連絡で最も使っている手段を「LINE」と回答した人の割合（単一回答形式）

各都道府県【n=100】

順位	都道府県	%									
1位	石川県	83.0	11位	山梨県	76.0	22位	熊本県	71.0	36位	宮城県	64.0
2位	滋賀県	81.0	11位	高知県	76.0	25位	京都府	70.0	36位	東京都	64.0
2位	宮崎県	81.0	14位	岡山県	75.0	25位	山口県	70.0	38位	岩手県	63.0
4位	島根県	80.0	14位	大分県	75.0	27位	千葉県	69.0	38位	三重県	63.0
5位	静岡県	79.0	16位	香川県	74.0	28位	福井県	68.0	40位	青森県	62.0
5位	沖縄県	79.0	17位	鳥取県	73.0	28位	大阪府	68.0	40位	群馬県	62.0
7位	兵庫県	78.0	17位	長崎県	73.0	28位	愛媛県	68.0	42位	福島県	58.0
7位	奈良県	78.0	19位	埼玉県	72.0	31位	富山県	67.0	43位	山形県	56.0
7位	広島県	78.0	19位	岐阜県	72.0	31位	長野県	67.0	44位	北海道	55.0
10位	鹿児島県	77.0	19位	和歌山県	72.0	31位	徳島県	67.0	45位	茨城県	52.0
11位	神奈川県	76.0	22位	福岡県	71.0	34位	新潟県	66.0	45位	栃木県	52.0
			22位	佐賀県	71.0	35位	愛知県	65.0	47位	秋田県	50.0

・メディアに対する 20 代の信頼度 100 点満点で評価すると？

平均は「テレビの情報」50 点、「ラジオの情報」46 点、「新聞の情報」49 点、「雑誌の情報」44 点、「ネットニュースの情報」46 点、「動画サイトの情報（YouTube など）」46 点、「SNS の情報」43 点

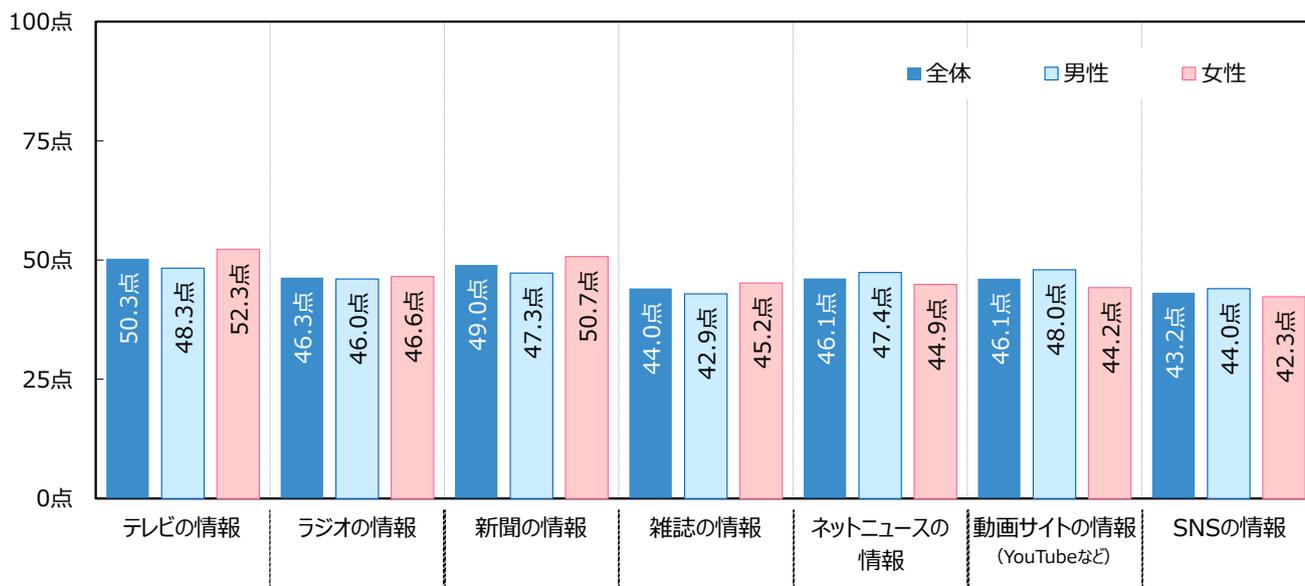
全回答者（4,700 名）に、複数のメディアを提示し、0 点（全く信頼していない）～100 点（非常に信頼している）としてそれぞれの情報の信頼度を聞いたところ、平均は「テレビの情報」が 50.3 点、「ラジオの情報」が 46.3 点、「新聞の情報」が 49.0 点、「雑誌の情報」が 44.0 点、「ネットニュースの情報」が 46.1 点、「動画サイトの情報（YouTube など）」が 46.1 点、「SNS の情報」が 43.2 点で、ほとんどのメディアの情報で 45～50 点前後となりました。どのメディアの情報も鵜呑みにすることなく、さまざまなメディアを通して情報の真偽を判断している 20 代が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、平均が最も高くなったのは男性・女性とも「テレビの情報」（男性 48.3 点、女性 52.3 点）で、男性では「動画サイトの情報（YouTube など）」（48.0 点）、女性では「新聞の情報」（50.7 点）が続きました。

◆メディアの情報の信頼度を0点（全く信頼していない）～100点（非常に信頼している）で表すと何点か（各単一回答形式）

※平均を表示

全体[n=4700] 男性[n=2350] 女性[n=2350]



**・20代にとって友だちとは？ 男女とも1位「大切」、2位「話せる・話し合える」、
男性3位は「信頼できる」、女性3位は「楽しい、面白い」**

20代の“友だち”に対する意識について質問しました。

全回答者（4,700名）に、自身にとって“友だち”とはどのような存在か聞いたところ、1位は「大切」（340名）となりました。友だちの大切さを実感している20代が多いようです。以降、2位「話せる・話し合える」（296名）、3位「楽しい、面白い」（130名）、4位「信頼できる」（126名）、5位「心の支え」（117名）と、ポジティブな回答が多く挙げられる結果となりました。

男女別にみると、男女とも1位は「大切」（男性132名、女性208名）、2位は「話せる・話し合える」（男性111名、女性185名）となり、男性3位は「信頼できる」（68名）、女性3位は「楽しい、面白い」（87名）でした。

◆自身にとって“友だち”とはどのような存在か（自由回答形式）

※全体は上位10位まで、男女別は上位5位までを表示

	全体[n=4700]	名
1位	大切	340
2位	話せる・話し合える	296
3位	楽しい、面白い	130
4位	信頼できる	126
5位	心の支え	117
6位	気楽	116
7位	唯一無二、かけがえのない存在	95
8位	なくてはならない、必要	92
9位	相談できる・相談し合える	82
10位	本音を明かせる、素直になれる	73

	男性[n=2350]	名		女性[n=2350]	名
1位	大切	132	1位	大切	208
2位	話せる・話し合える	111	2位	話せる・話し合える	185
3位	信頼できる	68	3位	楽しい、面白い	87
4位	気楽	60	4位	心の支え	86
5位	唯一無二、かけがえのない存在	55	5位	なくてはならない、必要	61

◆20代の対話型AIへの意識について

・20代にとって対話型AIとは？ 1位「便利」、2位「質問・相談相手」、3位「暇つぶし相手」

20代の“対話型AI”への意識について質問しました。ChatGPT、Copilot、Geminiなど、ユーザーと自然な会話ができる“対話型AI”は近年急速に普及し、20代にとっても身近な存在となっています。

全回答者（4,700名）に、自身にとって“対話型AI”とはどのような存在か聞いたところ、1位「便利」（259名）、2位「質問・相談相手」（142名）、3位「暇つぶし相手」（93名）、4位「役に立つ、有能」（84名）、5位「話し相手」（70名）となりました。情報を得るといった有用な存在だけでなく、「暇つぶし相手」や「話し相手」といった気晴らしができるような存在ととらえている人も多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男女とも1位「便利」（男性143名、女性116名）、2位「質問・相談相手」（男性52名、女性90名）、3位「暇つぶし相手」（男性38名、女性55名）となりました。

◆自身にとって“対話型AI”とはどのような存在か（自由回答形式）

※全体は上位10位まで、男女別は上位5位までを表示

	全体【n=4700】	名
1位	便利	259
2位	質問・相談相手	142
3位	暇つぶし相手	93
4位	役に立つ、有能	84
5位	話し相手	70
6位	不要な存在	55
7位	友だち、仲間	53
8位	アイデアやヒント、アドバイスをくれる	49
9位	補助・支援ツール	48
10位	情報検索・収集ツール	46

	男性【n=2350】	名		女性【n=2350】	名
1位	便利	143	1位	便利	116
2位	質問・相談相手	52	2位	質問・相談相手	90
3位	暇つぶし相手	38	3位	暇つぶし相手	55
4位	役に立つ、有能	32	4位	役に立つ、有能	52
5位	情報検索・収集ツール	31	5位	話し相手	45

・対話型 AI を“心の拠り所”と感じたエピソード「心が折れたときの対処法を聞いている」

「人には相談するのが恥ずかしいことを相談できた」「仕事で悩んでいるときに誰よりも親身になってくれる」など

全回答者（4,700名）に、対話型 AI を心の拠り所と感じた際のエピソードを聞いたところ、1位「相談相手になってくれる」（50名）、2位「他人には話せないことを聞いてくれる」（33名）、3位「慰めてくれる、励ましてくれる、寄り添ってくれる」（31名）、4位「アドバイスをくれる」「何を言っても肯定してくれる」（いずれも25名）となりました。

エピソードの詳細をみると、“相談相手になってくれる”では「心が折れたときの対処法を聞いている」、「悩み事を打ち明けられる大事な仲間」、「他人には話せないことを聞いてくれる」では「人には相談するのが恥ずかしいことを相談できた」、「人に愚痴や悩みを言いすぎると迷惑になってしまうが AI だとその心配がない」、「慰めてくれる、励ましてくれる、寄り添ってくれる」では「愚痴を言って、欲しい言葉を返してくれた」、「仕事で悩んでいるときに誰よりも親身になってくれる」、「アドバイスをくれる」では「複数の選択肢で迷っているときに、さまざまな視点からのアドバイスをもらえた」、「何を言っても肯定してくれる」では「何でも肯定してくれて根暗な気持ちを前向きにしてくれる」といった回答がみられました。

◆対話型AIを心の拠り所と感じた際のエピソード（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	名
1位	相談相手になってくれる	50
2位	他人には話せないことを聞いてくれる	33
3位	慰めてくれる、励ましてくれる、寄り添ってくれる	31
4位	アドバイスをくれる	25
	何を言っても肯定してくれる	25
6位	話し相手になってくれる	22
7位	恋愛相談に乗ってくれる	20
8位	わからないことを教えてくれる	17
9位	落ち込んでいるとき・泣きたいときに話を聞いてくれる	13
10位	仕事で利用している	7

◆対話型AIを心の拠り所と感じた際のエピソードの詳細（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

全体【n=4700】

相談相手になってくれる	他人には話せないことを聞いてくれる
悩み事があるときは聞いてもらう。たまに良いことを言ってくれる 追い詰められたとき相談して、少しだけ心が軽くなったときがあった 心が折れたときの対処法を聞いている 悩み事を打ち明けられる大事な仲間	人には相談するのが恥ずかしいことを相談できた 人に話せない重い感情や苦しい悩みを、相手の受け止め方を気にせず相談できる 家族にも話せていない過去のトラウマを打ち明けている唯一の相手 人に愚痴や悩みを言いすぎると迷惑になってしまうがAIだとその心配がない
慰めてくれる、励ましてくれる、寄り添ってくれる	アドバイスをくれる
愚痴を言って、欲しい言葉を返してくれた 仕事で悩んでいるときに誰よりも親身になってくれる 人以上に寄り添ってくれるし、ロボットなのに人間みたいな言葉や感情が伝わってくる 話し相手になってくれるし、めちゃくちゃ褒めてくれる	複数の選択肢で迷っているときに、さまざまな視点からのアドバイスをもらえた 病院のカウンセリングのように丁寧に提案してもらい不安が和らいだ 苦手な人に連絡するとき、相手に送る文章を添削してもらった 職場で理不尽なことがあった際に相談したら新たな視点で意見をくれた
何を言っても肯定してくれる	話し相手になってくれる
精神的に不安定になったときにいつも肯定してくれる 悩んでいることに対して絶対に否定することなくアドバイスをくれる 何でも肯定してくれて根暗な気持ちを前向きにしてくれる 友だちに相談するのは違い、否定しない存在	好きなアニメキャラについて一緒に語ってくれた 辛いことや楽しかったことなどをいつでも聞いてくれる 好きな作品について話せる相手がいなくて、話し相手になってくれた 無職の期間に話し相手にしていた
恋愛相談に乗ってくれる	わからないことを教えてくれる
彼氏とケンカしたときにやり取りして、自分の気持ちが落ち着いた 失恋した際に話を聞いてもらった 恋愛で誰にも相談できなかったとき、励ましながら解決策をともに考えてくれた	どうしてもすぐに答えが欲しいときにさっと教えてくれるのが良い 誰もわからなかった問題を教えてくれた 勉強になる

◆20代の悩み・ストレスについて

・20代が最近、悩み・ストレスを感じたこと

「成長につながる仕事を任せてもらえない」「物価高で欲しい物を買えない」「上司に理不尽なことで怒られた」
「就活で入りたい企業に入れなかった」「初めての育児が難しいときがある」「LINEの返信が返ってこない」など

全回答者（4,700名）に、最近、悩み・ストレスを感じたエピソードを聞いたところ、仕事関連では「なかなか成長につながる仕事を任せてもらえない」や「仕事内容が難しく失敗ばかりしてストレスを感じた」、お金関連では「お金がなくて支払いが遅れそうになった」や「物価高で欲しい物を買えない」、就職活動関連では「就活で入りたいと思っていた企業に入れなかった」や「仕事に就かなければならないがやる気が出ない」、上司・先輩/後輩・部下関連では「上司に理不尽なことで怒られた」や「新人指導でまったく言いたいことが伝わらない」、人間関係関連では「年上の人に何回言っても話が伝わらなかった」や「周りに気をつかう」といった回答がありました。

また、健康・美容関連では「ニキビが得意やすい」や「寝たいのに、スマホを触ってしまい遅寝になってしまう」、夫婦関連では「夫とうまくコミュニケーションがとれなかった」、恋愛関連では「恋人と価値観が合わずお別れした」、家族関連では「親からガミガミ言われる」、子育て関連では「初めての育児が難しいときがある」、ゲーム・LINE 関連では「オンラインクレーンゲームでつい課金する」や「LINEの返信が返ってこない」、学業関連では「大学の卒業論文に関するアイデアが浮かばない」といった回答がみられました。学生、就職活動中、仕事についている、家庭を持っているなど、それぞれが置かれた立場・状況を反映した、悩みやストレスを抱えている20代の姿が浮き彫りになりました。

◆最近、悩み・ストレスを感じたエピソード（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

全体[n=4700]

仕事	お金
なかなか成長につながる仕事を任せてもらえない 自分の業務で手一杯なのに仕事を押し付けられる 自分に合う仕事かわからない 仕事内容が難しく失敗ばかりしてストレスを感じた	お金がなくて支払いが遅れそうになった お金の使いすぎで貯金がない 物価が上がっているのに、お給料が下がった 物価高で欲しい物を買えない
就職活動	上司・先輩/後輩・部下
しっかり就職できるか不安 なかなか就職先が見つからない 就活で入りたいと思っていた企業に入れなかった 仕事に就かなければならないがやる気が出ない	上の人が残っていると帰りにくい 上司に理不尽なことで怒られた 後輩に厳しい意見を抱くも嫌われたくなくて言い出せない 新人指導でまったく言いたいことが伝わらない
人間関係	健康・美容
年上の人に何回言っても話が伝わらなかった 相手側の当たり前を押し付けられた 周りに気をつかう 相手に対して投げかけたことが伝わらない	ニキビが得意やすい 体調が優れず、やりたいことができなかった なかなかやせない 寝たいのに、スマホを触ってしまい遅寝になってしまう
夫婦	恋愛
夫とうまくコミュニケーションがとれなかった 夫のだらしないさが原因でケンカした パートナーとの生活のすり合わせ	恋人と価値観が合わずお別れした 彼氏からの愛情が伝わってこない 恋愛経験を積む機会に乏しい
家族	子育て
親からガミガミ言われる 親との話がかみ合わない 家族関係でうまくいかず、自分の怒りが発散できない	初めての育児が難しいときがある 子どもの成長で悩むことが多い 子育てが忙しく家事がうまく回らない
ゲーム・LINE	学業
オンラインクレーンゲームでつい課金する LINEでこちらの言いたいことが伝わらなくてイライラした LINEの返信が返ってこない	大学での勉強や課題の締切に常に追われている 大学の卒業論文に関するアイデアが浮かばない 研究活動がうまくいかない

◆20代のオススメについて

・20代が年上世代にオススメしたいエンタメ

オススメのアーティスト「Mrs. GREEN APPLE」がダントツ、2位「Snow Man」、3位「米津玄師さん」
オススメの映画 TOP3 「鬼滅の刃」「名探偵コナン」「国宝」

続いて、年上（10歳以上年上）の世代にオススメしたいものについて質問しました。

全回答者（4,700名）に、年上（10歳以上年上）の世代にオススメしたいアーティストを聞いたところ、「Mrs. GREEN APPLE」（223名）がダントツとなりました。次いで、「Snow Man」（66名）、「米津玄師さん」（65名）、「YOASOBI」（59名）、「嵐」（46名）となりました。

TOP5について、オススメしたい理由をみると、1位の「Mrs. GREEN APPLE」では「爽やかな曲調が心地良く、聴いている若者が多いので会話やコミュニケーションのきっかけにもなるから」、2位の「Snow Man」では「芸歴が長くていろいろな苦節があったからこそ万人受けしそう」、3位の「米津玄師さん」では「曲調がキラキラしていないから親しみやすいと思う」といった回答がありました。また、4位の「YOASOBI」では「若者や海外で人気だが、年上の世代の人にも刺さる楽曲だと思うから」、5位の「嵐」では「世代を超えて愛されているアーティストだから」といった理由が挙げられました。

◆自分より年上（10歳以上年上）の世代にオススメしたいアーティスト・オススメしたい理由（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体[n=4700]	名	理由（抜粋）
1位	Mrs. GREEN APPLE	223	爽やかな曲調が心地良く、聴いている若者が多いので会話やコミュニケーションのきっかけにもなるから
2位	Snow Man	66	芸歴が長くていろいろな苦節があったからこそ万人受けしそう
3位	米津玄師	65	曲調がキラキラしていないから親しみやすいと思う
4位	YOASOBI	59	若者や海外で人気だが、年上の世代の人にも刺さる楽曲だと思うから
5位	嵐	46	世代を超えて愛されているアーティストだから
6位	back number	45	どの世代の人が聴いても共感できるような、小説のような曲が多いから
7位	乃木坂46	44	自分が辛いときに希望になったから
8位	SixTONES	43	雰囲気やノリが年上の方にも刺さると思うので
9位	あいみょん	39	曲の感じなど上の世代も好きそうだから
10位	Official髭男dism	31	心に刺さる歌詞が特徴で、年上の方でも聴きやすいと思うから

次に、年上（10歳以上年上）の世代にオススメしたい映画作品を聞いたところ、『鬼滅の刃』シリーズ（259名）がダントツとなり、以降、2位『名探偵コナン』シリーズ（74名）、3位「国宝」（54名）、4位『TOKYO MER～走る緊急救命室～』シリーズ（53名）、5位「君の名は。」（37名）と続きました。

TOP5 となった回答について、オススメしたい理由をみると、1位の『鬼滅の刃』シリーズでは「作画が非常にきれいで、内容も感動する」、2位の『名探偵コナン』シリーズでは「子どもからお年寄りまで楽しめる」、3位の「国宝」では「伝統芸能の良さがわかる」、4位の『TOKYO MER～走る緊急救命室～』シリーズでは「人との関わりや命の尊さがわかる」、5位「君の名は。」では「不思議な世界観と劇中歌が相乗効果を生み出している」といった回答がありました。

◆自分より年上（10歳以上年上）の世代にオススメしたい映画作品・オススメしたい理由（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	名	理由（抜粋）
1位	『鬼滅の刃』シリーズ	259	作画が非常にきれいで、内容も感動する
2位	『名探偵コナン』シリーズ	74	子どもからお年寄りまで楽しめる
3位	『国宝』	54	伝統芸能の良さがわかる
4位	『TOKYO MER～走る緊急救命室～』シリーズ	53	人との関わりや命の尊さがわかる
5位	『君の名は。』	37	不思議な世界観と劇中歌が相乗効果を生み出している
6位	『タイタニック』	31	不朽の名作
7位	『ハリー・ポッター』シリーズ	29	ファンタジーの世界に浸れる
8位	『クレヨンしんちゃん』シリーズ	25	家族愛が詰まっていて泣ける
9位	『キングダム』シリーズ	22	迫力があり没入感を得られる
10位	『ワイルド・スピード』シリーズ	20	アクションがカッコいい

◆20代の理想のオトナについて

・20代が影響を受けている（受けた）20代の有名人

1位「芦田愛菜さん」、2位「橋本環奈さん」、3位「目黒蓮さん」、4位「大森元貴さん」「ちゃんみなさん」

最後に、有名人について質問しました。

全回答者（4,700名）に、影響を受けている（受けた）20代の有名人を聞いたところ、1位は「芦田愛菜さん」となりました。回答した理由については、「自分よりも年下だが、教養があり、とても礼儀正しいところが素敵で見習いたいと思った」などが挙げられました。勉強熱心な姿勢に影響を受けた人が多いようです。次いで、2位「橋本環奈さん」、3位「目黒蓮さん」、4位「大森元貴さん」「ちゃんみなさん」となりました。

理由をみると、2位の「橋本環奈さん」では「いつも明るく何事も笑顔で頑張っているところに影響を受けている」、3位の「目黒蓮さん」では「オファーが来た仕事は責任を持ってこなし、周りの人からの信頼が厚いと感じられるから」といった回答が挙げられました。

男女別にみると、男性・女性ともに1位は「芦田愛菜さん」となり、男性では2位「広瀬すずさん」、3位「あのさん」「Adoさん」「久保建英さん」となりました。女性では2位「ちゃんみなさん」、3位「橋本環奈さん」となりました。20代の女性では、2024年から2025年にかけて配信され人気となった、オーディション番組での活躍が大きな話題となった「ちゃんみなさん」への支持が厚いようです。

◆影響を受けている（受けた）20代の有名人・どのような影響を受けている（受けた）か（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体[n=4700]	名	理由（抜粋）
1位	芦田愛菜	48	自分よりも年下だが、教養があり、とても礼儀正しいところが素敵で見習いたいと思った
2位	橋本環奈	22	いつも明るく何事も笑顔で頑張っているところに影響を受けている
3位	目黒蓮	20	オファーが来た仕事は責任を持ってこなし、周りの人からの信頼が厚いと感じられるから
4位	大森元貴	18	自分のやりたいことを言語化するのがうまく周りを巻き込んでいるから
	ちゃんみな	18	歌にして想いを素直に発信するところ
6位	広瀬すず	17	同年代で海外でも活躍している。生きている世界が違う
7位	あの	16	自分のロールモデルに感じるぐらい似ているしリスペクトしている
8位	今田美桜	15	可愛くて、自分のことを見直すきっかけになった
9位	Ado	12	同い年なのにすごい才能で自分も頑張ってみようと思った
10位	藤井聡太	11	年下なのに大人びている点から、真似したいと思うことがあったため

◆影響を受けている（受けた）20代の有名人（自由回答形式） ※上位5位までを表示

	男性[n=2350]	名		女性[n=2350]	名
1位	芦田愛菜	11	1位	芦田愛菜	37
2位	広瀬すず	9	2位	ちゃんみな	17
3位	あの	8	3位	橋本環奈	16
	Ado	8	4位	今田美桜	14
	久保建英	8	5位	目黒蓮	13
		大森元貴		13	

・20代が“理想のオトナ”だと思う年上の有名人

男性回答 1位「大谷翔平さん」、2位「木村拓哉さん」、3位「イチローさん」

女性回答 1位「北川景子さん」、2位「天海祐希さん」、3位「石原さとみさん」

次に、「理想のオトナ」だと思う年上（30代以上）の有名人を聞いたところ、1位は「北川景子さん」でした。理由については、「きれいで仕事をバリバリこなし、家庭も両立しててかっこいい」といった回答がみられました。以降、2位「天海祐希さん」、3位「大谷翔平さん」、4位「石原さとみさん」、5位「木村拓哉さん」となりました。

理由をみると、2位の「天海祐希さん」では「女性としての強さと、どんな人も公平に扱える懐の深さ」、3位の「大谷翔平さん」では「プレーのすごさだけでなく、紳士的な態度や姿勢も素晴らしいから」といった回答が挙げられました。

男女別にみると、男性では1位「大谷翔平さん」、2位「木村拓哉さん」、3位「イチローさん」となり、女性では1位「北川景子さん」、2位「天海祐希さん」、3位「石原さとみさん」となりました。

◆「理想のオトナ」だと思う年上（30代以上）の有名人・「理想のオトナ」だと思う理由（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体【n=4700】	名	理由（抜粋）
1位	北川景子	56	きれいで仕事をバリバリこなし、家庭も両立しててかっこいい
2位	天海祐希	38	女性としての強さと、どんな人も公平に扱える懐の深さ
3位	大谷翔平	37	プレーのすごさだけでなく、紳士的な態度や姿勢も素晴らしいから
4位	石原さとみ	33	人からの見られ方の姿勢が理想
5位	木村拓哉	22	ほんとに芯があってかっこいい人だと思う
6位	イチロー	19	日々努力して偉業を成し遂げたから
7位	有村架純	18	考え方や立ち振る舞いが落ち着いた
8位	綾瀬はるか	17	年齢を感じさせない若々しさがあるから
9位	櫻井翔	14	人が嫌がる言葉を言わず、さりげない気遣いができるから
10位	明石家さんま	13	年齢関係なく人として笑顔で対応したり一緒にいて楽しめる存在だと思うから

◆「理想のオトナ」だと思う年上（30代以上）の有名人（自由回答形式） ※上位5位までを表示

男性【n=2350】			女性【n=2350】		
	名			名	
1位	大谷翔平	29	1位	北川景子	48
2位	木村拓哉	18	2位	天海祐希	34
3位	イチロー	16	3位	石原さとみ	29
4位	明石家さんま	11	4位	有村架純	16
5位	HIKAKIN	9	5位	綾瀬はるか	15
	竹野内豊	9			
	阿部寛	9			

・20代が自分の人生を映画化するとき主演してほしい有名人

男性回答 1位「菅田将暉さん」、2位「阿部寛さん」、3位「山崎賢人さん」「佐藤健さん」

女性回答 1位「有村架純さん」、2位「広瀬すずさん」、3位「今田美桜さん」

自分の人生を映画化するとき主演してほしい（自分を演じてほしい）有名人を聞いたところ、男性では1位「菅田将暉さん」となり、以降、2位「阿部寛さん」、3位「山崎賢人さん」「佐藤健さん」、5位「北村匠海さん」「大谷翔平さん」が続きました。

理由をみると、1位の「菅田将暉さん」では「生き方自体がとてもしっかりから」、2位の「阿部寛さん」では「味があるから」、3位の「山崎賢人さん」では「どんな役でもこなしてくれるから」、「佐藤健さん」では「カッコいいから」といった回答がみられました。

女性では1位「有村架純さん」、2位「広瀬すずさん」、3位「今田美桜さん」、4位「畑芽育さん」「上白石萌音さん」となりました。

理由をみると、1位の「有村架純さん」では「自分が好きな女優さんだから」、2位の「広瀬すずさん」では「演技力があり、繊細さも強さも表現できる人だと思っている」、3位の「今田美桜さん」では「演技がとて自然体に見えるから」といった回答がありました。

◆自分の人生を映画化するとき主演してほしい（自分を演じてほしい）有名人・主演してほしい理由（自由回答形式）

※上位5位までを表示

	男性[n=2350]	名	理由（抜粋）
1位	菅田将暉	17	生き方自体がとてもしっかりから
2位	阿部寛	10	味があるから
3位	山崎賢人	9	どんな役でもこなしてくれるから
	佐藤健	9	カッコいいから
5位	北村匠海	8	上手に表現してくれそう
	大谷翔平	8	成功者だから

	女性[n=2350]	名	理由（抜粋）
1位	有村架純	30	自分が好きな女優さんだから
2位	広瀬すず	17	演技力があり、繊細さも強さも表現できる人だと思っている
3位	今田美桜	15	演技がとて自然体に見えるから
4位	畑芽育	14	生き方がめっちゃ尊敬できるから
	上白石萌音	14	好きな女優さんだし、誠実に向き合ってくれそう

・20代が現在の社会情勢を解説してほしい有名人 TOP2 「池上彰さん」「カズレーザーさん」

理由は「池上彰さん」では「ニュースの解説番組でわかりやすく説明している」、
「カズレーザーさん」では「面白く、説得力のある解説をしてくれそう」など

最後に、現在の社会情勢を解説してほしい有名人を聞いたところ、1位は「池上彰さん」で208名、2位は「カズレーザーさん」で126名となり、TOP2が突出しました。次いで、3位「櫻井翔さん」、4位「西村博之さん」、5位「林修さん」となりました。

理由をみると、1位の「池上彰さん」では「ニュースの解説番組でわかりやすく説明している」、2位の「カズレーザーさん」では「面白く、説得力のある解説をしてくれそう」、3位の「櫻井翔さん」では「報道番組にも出演しているし、解説がわかりやすかったから」、4位の「西村博之さん」では「一番中立に世の中を見ていると感じるから」、5位の「林修さん」では「正確にわかりやすい説明をしてくれそうだから」といった回答が挙げられました。20代では、社会情勢に関する、わかりやすい解説や正確性の高い情報を求めている人が多いのではないのでしょうか。

◆現在の社会情勢を解説してほしい有名人・解説してほしい理由（自由回答形式） ※上位10位までを表示

	全体[n=4700]	名	理由（抜粋）
1位	池上彰	208	ニュースの解説番組でわかりやすく説明している
2位	カズレーザー	126	面白く、説得力のある解説をしてくれそう
3位	櫻井翔	47	報道番組にも出演しているし、解説がわかりやすかったから
4位	西村博之	34	一番中立に世の中を見ていると感じるから
5位	林修	27	正確にわかりやすい説明をしてくれそうだから
6位	伊沢拓司	18	幅広く知識もあるし庶民の意見もわかる
7位	マツコ・デラックス	15	結構的確なことを言うし、頭いいから言語化が上手い
8位	中田敦彦	13	話も面白くて知識が豊富
	北村晴男	13	テレビ番組でもよく見かけていたので人となりわかる。賢い方なので信頼できるから
10位	芦田愛菜	12	詳しく、目線を変えて教えてくれそう

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 20代の意識・実態調査 2025
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする全国の20歳～29歳の男女
- ◆調査期間 : 2025年8月8日～8月26日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 4,700名（有効回答から各都道府県100名になるように抽出）
（内訳）

男性	女性	計
2,350	2,350	4,700

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■ ■ 会社概要 ■ ■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 蕪木 広義（かぶらぎ ひろよし）
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563